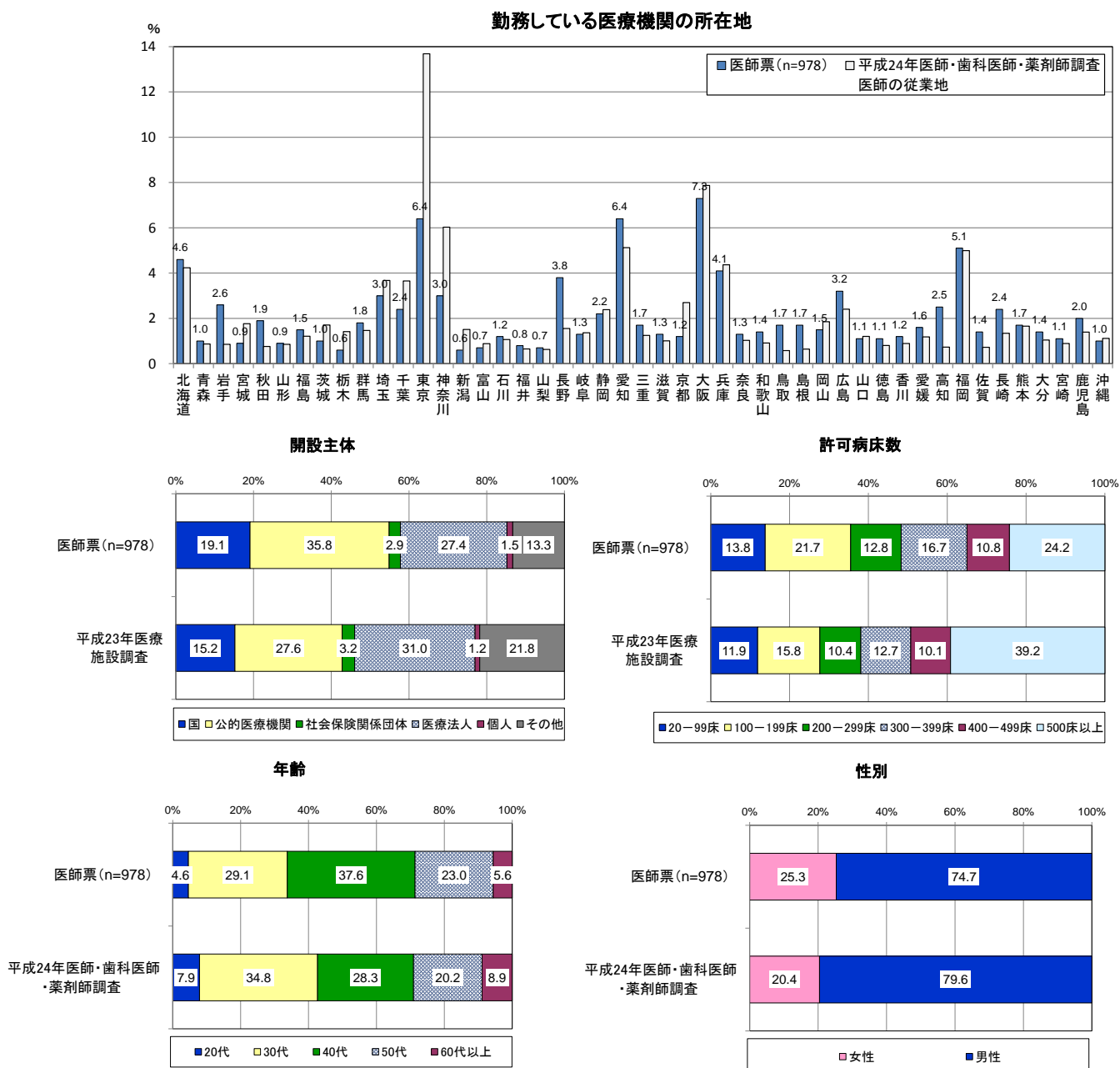


3 病院アンケート調査結果¹

3-1 病院に勤務する医師の調査結果

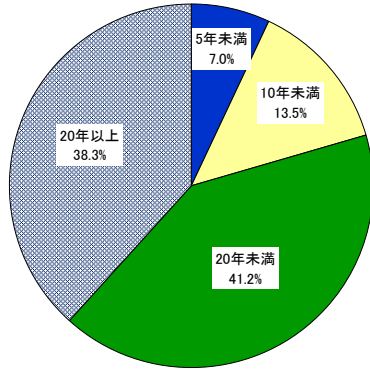
1. 回答者属性

回答者属性について、国の統計と比較すると、所在地別では、東京都の比率が低くなっている以外、大きな差異はみられない。開設主体別では、国や公的医療機関に勤務する医師の比率が高い。許可病床数別では、500床以上の病院に勤務する医師の比率が低い。年齢、性別、主な診療科については、大きな差異はみられない。

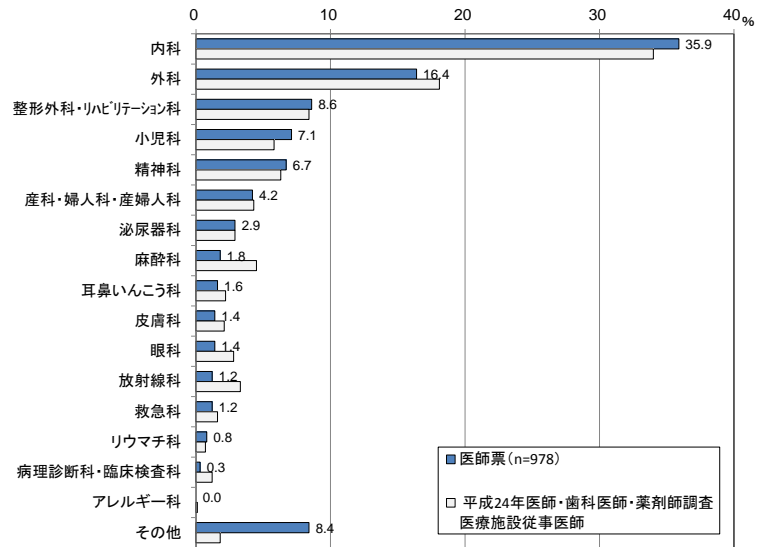


¹ 図表のnはサンプル（標本）数のこと

医師としてのキャリア [n=978]



主に専門としている診療科



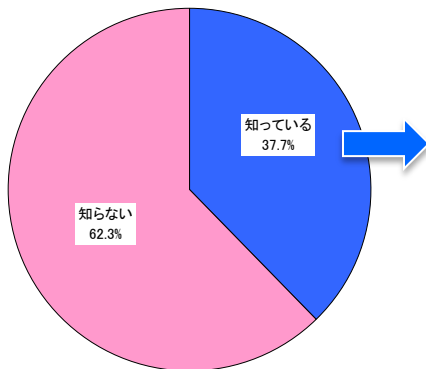
2. 働き方・休み方

(1) 労働時間

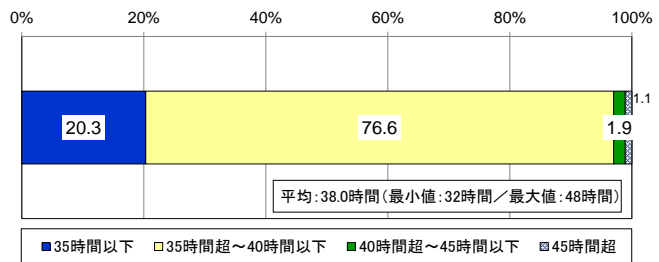
① 週所定労働時間

週所定労働時間数を「知っている」と回答した医師は約4割であった。
週所定労働時間数は平均38時間で、「35時間超～40時間以下」が8割弱を占めている。

就業規則等の医師の週所定労働時間の認知 [n=978]



週所定労働時間数 [n=359]



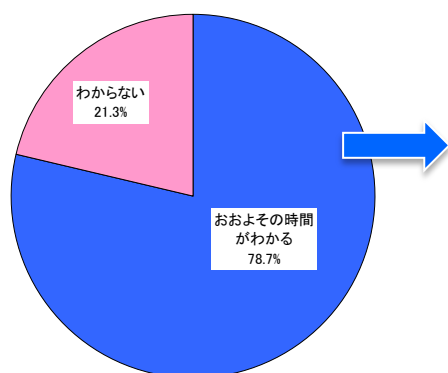
②時間外労働時間

平成27年6月の時間外労働時間について「おおよその時間がわかる」と回答した医師は約8割であった。

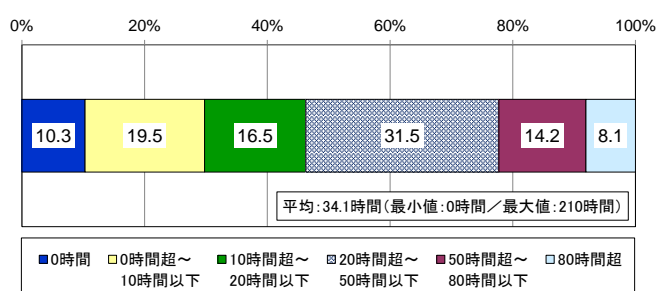
平成27年6月の時間外労働時間数は平均34.1時間で、「0時間」が1割みられる一方で、80時間を超える医師が8.1%みられた。許可病床数別でみると、規模が大きいほど「50時間超」の比率が高い。

時間外労働の主な理由(MA²)は、「緊急対応」「手術や外来対応等の延長」「記録・報告書作成や書類の整理」「会議・勉強会・研修会等への参加」で、規模が大きいほど、また年代が低いほど「緊急対応」の比率が高い。

平成27年6月の時間外労働時間数の認知 [n=978]

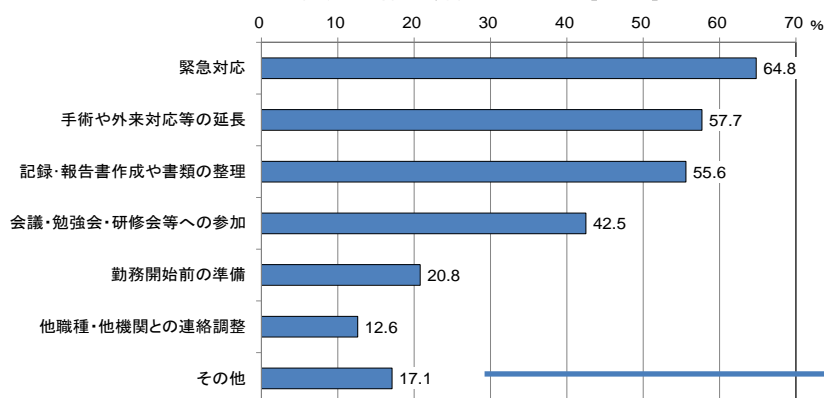


平成27年6月のおおよその時間外労働時間数 [n=769]



	調査数	0時間	0時間超～10時間以下	10時間超～20時間以下	20時間超～50時間以下	50時間超～80時間以下	80時間超	50時間超(再掲)	
全体	769	10.3	19.5	16.5	31.5	14.2	8.1	22.2	
R3. 許可病床数	20～99床	100	29	30	12	19	4	6	10
	100～199床	158	19.6	25.3	11.4	29.1	11.4	3.2	14.6
	200～399床	219	4.6	21	23.7	31.1	14.6	5	19.6
	400床以上	292	3.1	11.6	15.4	37.3	18.8	13.7	32.5
R4. 年齢	20代	31	3.2	3.2	19.4	22.6	19.4	32.3	51.6
	30代	230	3.9	20.9	17	34.8	13.9	9.6	23.5
	40代	296	7.1	18.9	17.9	33.8	15.2	7.1	22.3
	50代以上	212	22.6	21.2	13.7	25.9	12.3	4.2	16.5

平成27年6月の時間外労働の主な理由 [n=691]



「その他」の内訳

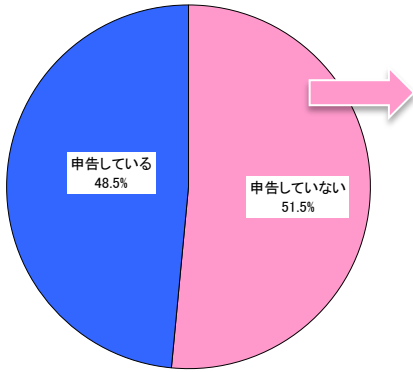
その他内容	件数
病棟業務	48
当直(宿日直)	21
通常業務	18
学会・研究会・勉強会の準備	11
重症患者対応	4
待機	4
患者対応	3
診療	3
夜勤	2
面談	1
病院運営業務	1

	調査数	緊急対応	手術や外来対応等の延長	記録・報告書作成や書類の整理	会議・勉強会・研修会等への参加	勤務開始前の準備	他職種・他機関との連絡調整	その他	
全体	691	64.8	57.7	55.6	42.5	20.8	12.6	17.1	
R3. 許可病床数	20～99床	71	39.4	63.4	47.9	42.3	15.5	19.7	12.7
	100～199床	127	54.3	40.9	50.4	34.6	17.3	9.4	25.2
	200～399床	210	77.1	58.1	52.9	42.9	23.3	11	17.1
	400床以上	283	66.8	63.6	61.8	45.9	21.9	13.4	14.5
R4. あなたの年齢	20代	30	86.7	50	53.3	36.7	16.7	10	10
	30代	222	72.1	61.7	51.8	39.6	22.5	9.9	13.1
	40代	275	66.9	58.5	61.1	42.9	19.6	14.2	17.8
	50代以上	164	47.6	52.4	51.8	47	21.3	14	22.6

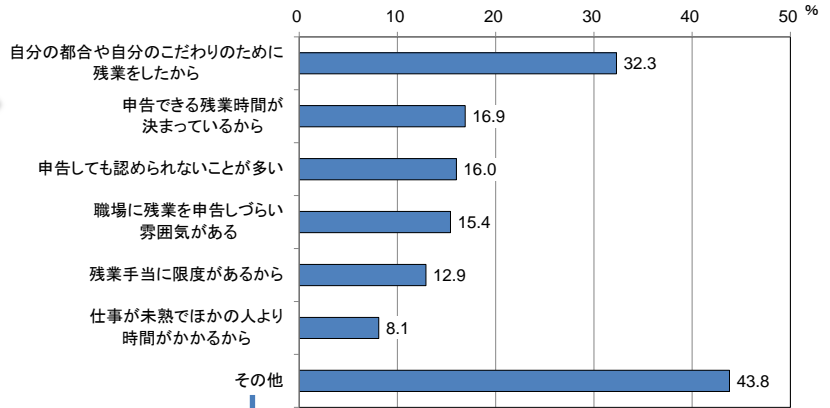
2 マルチアンサー(複数回答)のこと

時間外労働時間の申告状況を見ると、時間外労働時間通りに申告しているのは、医師の約半数であった。他方、申告していない人の申告しない理由としては (MA)、「自分の都合や自分のこだわりのために残業したから」の比率が高い。
 時間外労働時間に対する手当の支払いについては、「支払われていない」が6.0%みられた。

時間外労働時間の申告状況 [n=691]



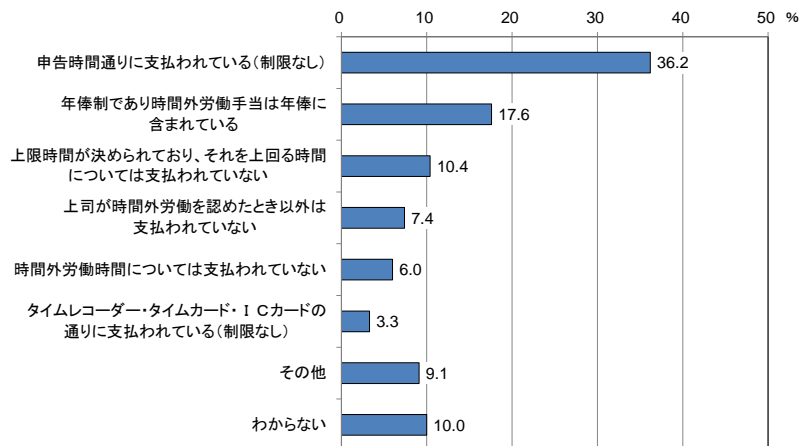
時間外労働時間を時間外労働時間通り申告しない理由 [n=356]



「その他」の内訳

申告しない理由	件数
年俸制・みなし労働時間制・裁量労働制	38
時間外の対象となる業務が決まっている	24
役員・管理職	22
申告が面倒/必要を感じない/特に理由は無い	19
申請する習慣がない/申請しないことが(職場で)習慣化している、申告しづらい雰囲気	15
制度がない/知らない	14
本来業務とは言えないので	6
業務によって申告するかしないか判断している	4
教育職は時間外がない	3
申告を忘れる	3
その他	10

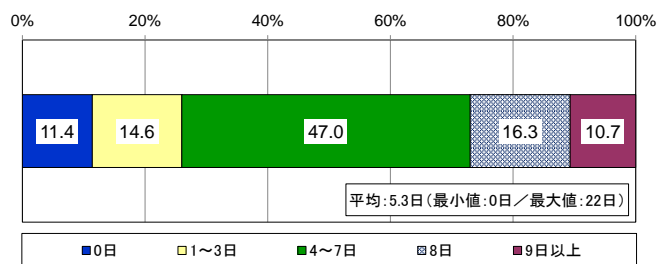
時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われているか [n=978]



(2) 休日・休暇

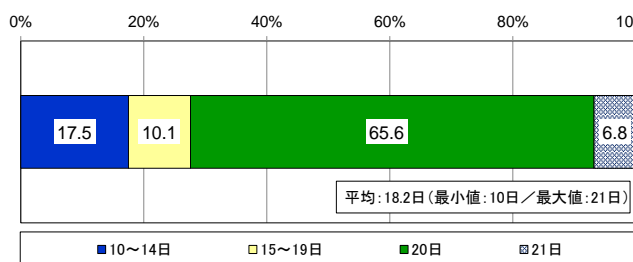
平成27年6月の休日日数は、平均5.3日で、「8日以上」休んだ医師は3割弱である。
 3日以下（0日及び1～3日）が1/4を占め、1日も休んでいない医師も1割みられる。許可病床数別では規模が大きいほど、年齢別では「20代」の休日が少ない。
 年次有給休暇については、平成26年度の年次有給休暇付与日数（前年度の繰り越し分は含めない。）平均18.2日に対し、取得日数は平均4.2日であり、「0日」と回答した医師も3割みられた。

平成27年6月の休日日数(実際に業務を休んだ日数) [n=977]

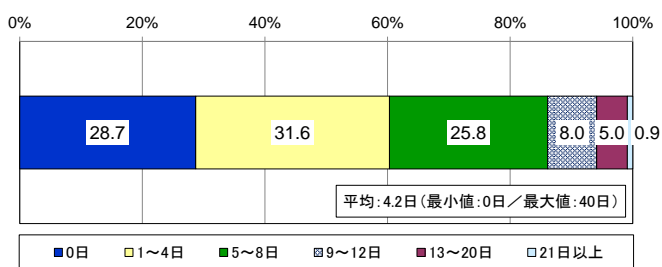


	調査数	0日	1～3日	4～7日	8日	9日以上	3日以下 (再掲)	8日以上 (再掲)
全体	977	11.4	14.6	47.0	16.3	10.7	26.0	27.0
R3. 許可病床数	20～99床	134	3.7	8.2	41.0	25.4	11.9	47.0
	100～199床	212	9.9	8.0	42.5	21.7	17.9	39.6
	200～399床	288	8.3	16.7	50.0	17.0	8.0	25.0
	400床以上	343	17.8	19.5	49.6	8.7	4.4	37.3
R4. 年齢	20代	45	31.1	20.0	40.0	2.2	6.7	8.9
	30代	284	10.9	15.1	51.8	15.8	6.3	22.2
	40代	368	11.4	12.8	47.6	16.6	11.7	28.3
	50代以上	280	8.6	15.7	42.5	18.6	14.6	33.2

平成26年度の年次有給休暇付与され(てい)た日数 [n=628]

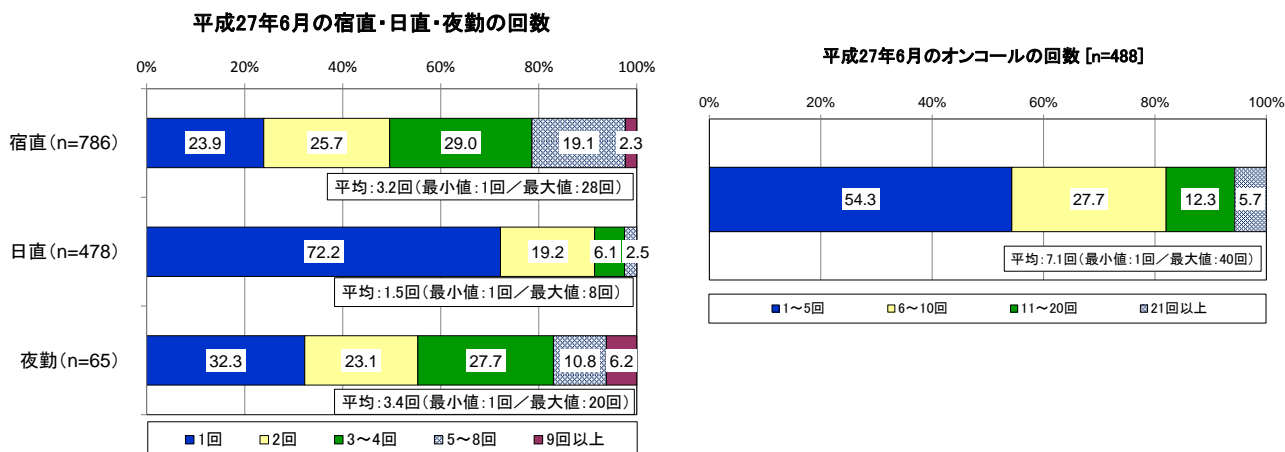


平成26年度の年次有給休暇取得した日数 [n=915]

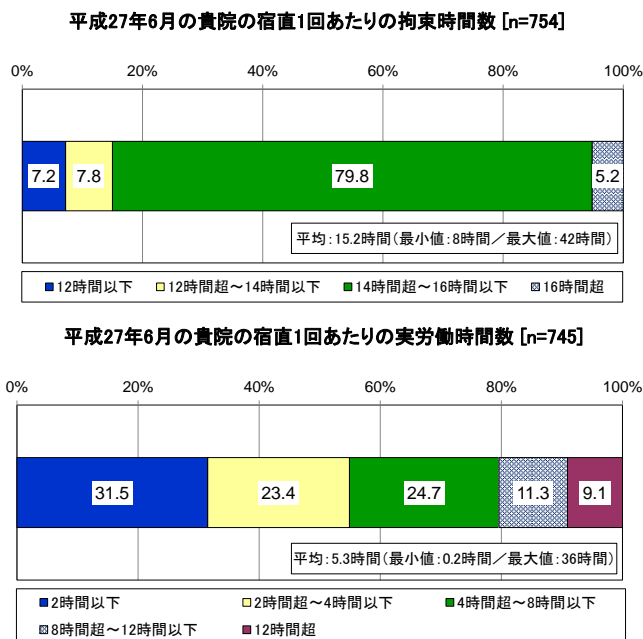


(3) 当直・夜勤

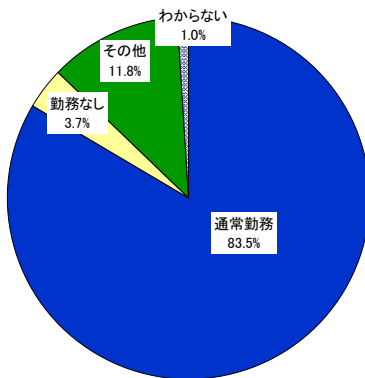
平成27年6月に宿直を行った医師（n=786）に宿直回数を尋ねたところ、平均3.2回であった。同月に日直を行った医師（n=478）の日直回数は平均1.5回で、「1回」が7割を占めている。夜勤勤務の医師（n=65）の夜勤回数は平均3.4回である。同月にオンコールを受けた医師（n=488）のオンコール回数は平均7.1回で、「1～5回」が半数を占めるが、「11回以上」も2割弱みられた。



宿直1回当たりの拘束時間は「14時間超 16時間以下」が8割で、平均拘束時間は15.2時間である。宿直を行った際の実労働時間数を見ると平均5.3時間であるが、許可病床数が多いほど、また、年代が若いほど宿直における勤務時間が長い。宿直明けの勤務割を見ると、8割以上が「通常勤務」と回答しており、病床数が多い病院の宿直ほど負担が大きい。



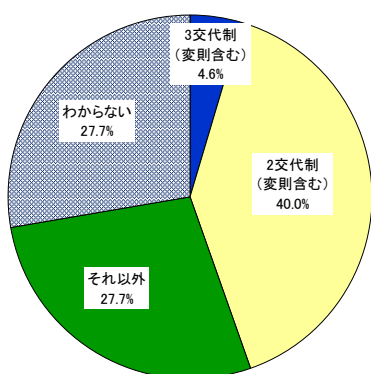
宿直明けの勤務割 [n=786]



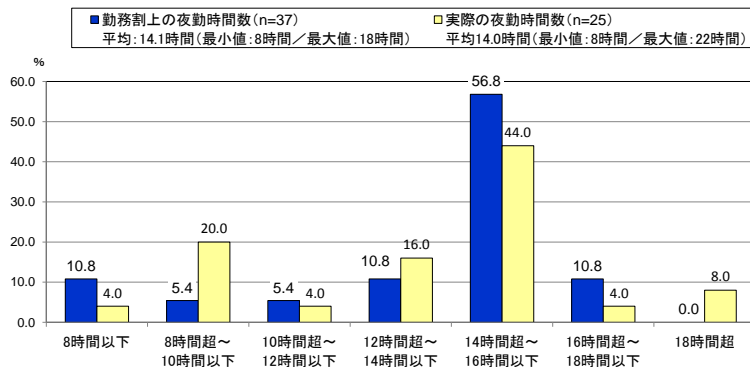
		調査数	2時間以下	2時間超～ 4時間以下	4時間超～ 8時間以下	8時間超～ 12時間以下	12時間超	8時間超 (再掲)
全体		745	315	234	247	113	91	204
R3. 許可病床数	20～99床	96	53.1	22.9	11.5	4.2	8.3	12.5
	100～199床	167	45.5	24.0	15.6	7.8	7.2	15.0
	200～399床	223	24.7	26.0	26.0	12.1	11.2	23.3
	400床以上	259	20.5	20.8	34.4	15.4	8.9	24.3
R4. 年齢	20代	34	5.9	17.6	38.2	32.4	5.9	38.2
	30代	228	25.0	24.6	25.0	13.6	11.8	25.4
	40代	290	29.3	22.8	29.3	10.7	7.9	18.6
	50代以上	193	47.2	23.8	15.0	5.7	8.3	14.0

夜勤勤務者 (n=65) の交代制勤務は、「2交代制 (変則含む)」の比率が高い。また、「それ以外」「わからない」との回答が半数以上あった。

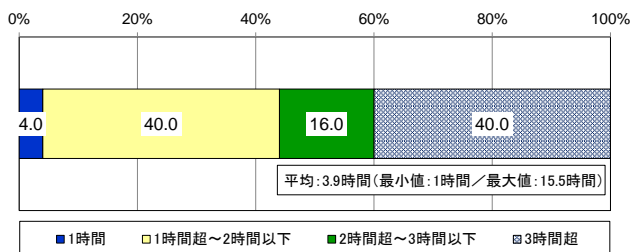
あなたご自身の主な交代制勤務 [n=65]



平成27年6月の夜勤1回あたりの勤務割上の夜勤時間数と実際の夜勤時間数

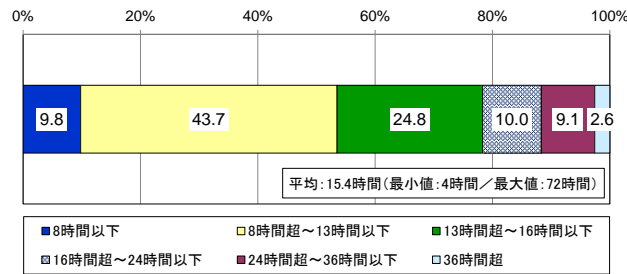


平成27年6月の夜勤1回あたりの実際の休憩・仮眠時間数 [n=25]



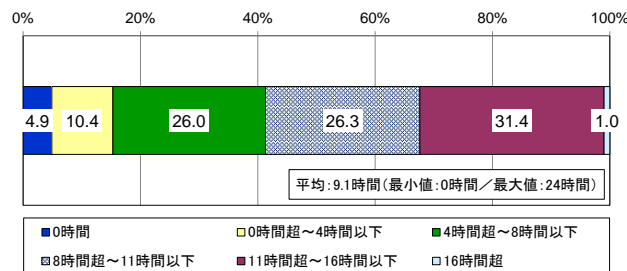
平成27年6月の最長連続勤務時間は平均15.4時間で、「8時間超～13時間以下」、次いで「13時間超～16時間以下」の比率が高いが、「24時間超」の回答も11.7%みられる。一方、勤務終了から次の勤務開始までの最も短い時間間隔を見ると、平均9.1時間で、「8時間超～11時間以下」「4時間超～8時間以下」の比率が高いが、「4時間以下」の回答も15.3%みられた。許可病床数別や年齢別でみると、規模が大きいほど、また、年齢が低いほど最長連続勤務時間が長く、勤務終了から次の勤務開始までの時間間隔は短くなる。

平成27年6月の最長連続勤務時間 [n=968]



		調査数	8時間以下	8時間超～13時間以下	13時間超～16時間以下	16時間超～24時間以下	24時間超～36時間以下	36時間超	13時間超 (再掲)
全体		968	9.8	43.7	24.8	10.0	9.1	2.6	46.5
R3. 許可病床数	20～99床	135	23.0	52.6	10.4	6.7	5.9	1.5	24.4
	100～199床	211	16.6	51.2	18.0	5.2	6.6	2.4	32.2
	200～399床	281	6.0	48.4	21.7	7.8	13.5	2.5	45.6
	400床以上	341	3.5	31.7	37.2	16.1	8.2	3.2	64.8
R4. あなたの年齢	20代	43	0.0	20.9	46.5	20.9	7.0	4.7	79.1
	30代	284	6.3	39.8	26.8	11.6	13.0	2.5	53.9
	40代	364	9.1	43.4	26.9	9.6	8.0	3.0	47.5
	50代以上	277	15.9	51.6	16.6	7.2	6.9	1.8	32.5

平成27年6月の当日の勤務(時間外労働を含む)の終了から次の勤務開始までの間隔が最も短い時間 [n=971]



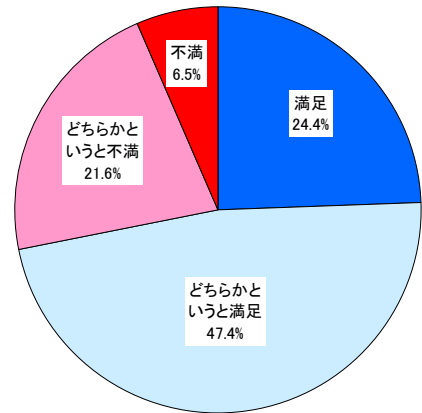
		調査数	0時間	0時間超～4時間以下	4時間超～8時間以下	8時間超～11時間以下	11時間超～16時間以下	16時間超	8時間以下 (再掲)
全体		971	4.9	10.4	26.0	26.3	31.4	1.0	41.3
R3. 許可病床数	20～99床	134	4.5	12.7	14.2	20.9	44.8	3.0	31.3
	100～199床	212	3.3	6.6	22.2	25.0	42.9	0.0	32.1
	200～399床	283	6.4	11.3	20.5	25.4	35.0	1.4	38.2
	400床以上	342	5.0	11.1	37.4	29.8	16.1	0.6	53.5
R4. あなたの年齢	20代	45	4.4	13.3	46.7	20.0	15.6	0.0	64.4
	30代	282	5.3	11.0	29.4	27.0	25.9	1.4	45.7
	40代	366	5.2	8.7	27.0	27.6	30.3	1.1	41.0
	50代以上	278	4.3	11.5	17.6	24.8	41.0	0.7	33.5

3. 勤務環境に対する満足状況

(1) 勤務環境に対する満足度

勤務環境に対する満足度を見ると、満足度（「満足」及び「どちらかという満足」）は71.9%と高い。不満を感じている医師は「公的医療機関」「400床以上」の比率が高く、また、女性の比率も高い。不満を感じている医師では、時間外労働時間数が多い、休日や年次有給休暇取得日数が少ない、宿直の実働時間が長い、最長連続勤務時間が長い一方、業務と業務の間隔は短い等、満足している人に比べ、働き方・休み方に課題がみられる。

今の勤務環境の満足度 [n=978]



※設問によりサンプル数が異なる点に留意

	満足+どちらかという満足	不満+どちらかという不満
開設主体（上位2つ）	公的医療機関 33.6% 医療法人 29.7%	公的医療機関 41.5% 医療法人 21.5%
許可病床数	400床以上 31.0% (99床以下 15.8%)	400床以上 45.5% (99床以下 8.7%)
年代	(差がない)	
性別	男性 76.8%/女性 23.2%	男性 69.5%/女性 30.5%
キャリア	(差がない)	
主に専門としている診療科	(差がない)	
平成27年6月のおおよその時間外労働時間数	平均 28.7時間	平均 47.8時間
平成27年6月のおおよその時間外労働時間数 50時間超の比率	17.1%	35.3%
時間外労働時間を申告している比率	52.2%	40.1%
時間外労働時間を時間外労働時間通り申告しない理由（最も比率の高い項目）	自分の都合や、自分のこだわりのために残業をしたから 40.2%	申告しても認められないことが多いから 22.8%
時間外労働時間に対する時間外労働手当の支払い状況（「上限時間が決められている」及び「支払われていない」の比率）	13.5%	24.0%
平成27年6月の休日日数（実際に業務を休んだ日数）	平均 5.6日 3日以下 23.9%/8日以上 31.8%	平均 4.5日 3日以下 31.3%/8日以上 14.9%
平成26年度の年次有給休暇を取得した日数と取得0日の比率	平均 4.5日 0日 26.1%	平均 3.2日 0日 35.5%
平成27年6月の宿直回数	平均 3.2回	平均 3.1回
平成27年6月の日直回数	平均 1.4回	平均 1.6回
平成27年6月のオンコール回数	平均 6.8回	平均 7.8回
宿直の拘束時間と実労働時間	拘束平均 15.2時間 実労働時間平均 4.9時間 実労働時間2時間以下 35.7%/8時間超 17.8%	拘束平均 15.2時間 実労働時間平均 6.3時間 実労働時間2時間以下 21.0%/8時間超 27.1%
宿直明けの勤務割	通常勤務 83.1%	通常勤務 84.4%
平成27年6月の最長連続勤務時間	平均 14.4時間 12時間超 47.2%、うち24時間超 8.8%	平均 17.8時間 12時間以下 69.8%、うち24時間超 18.9%
平成27年6月の当日の勤務の終了から次の勤務開始までの間隔が最も短い時間	平均 9.5時間 4時間以下 13.2%/12時間超 25.2%	平均 8.1時間 4時間以下 20.9%/12時間超 13.2%

(2) 自由意見の分類

回答総数 982 票中、勤務環境に対する自由記述記入率は 97.0%である。自由記述を分類したところ 1425 件（重複カウント）で、一人当たり 1.5 件の意見が寄せられた。
 意見を肯定的な意見と否定的な意見に分類したところ、肯定的意見 836 件（58.7%）、否定的な意見 560 件（39.3%）と肯定的な意見が多い。
 肯定的な意見は職場環境に満足している医師からの意見が大半を占め、「やりがい」「業務量」「当直・夜勤・オンコール等」「マネジメント」「報酬」「組織風土・職場環境」を評価している。
 一方、否定的な意見は、職場環境に不満を感じている医師だけでなく、満足している医師からも寄せられているが、「業務量」「当直・夜勤・オンコール等」「休暇・休日」「人材確保」「報酬」「マネジメント」への意見が多い。

① 肯定的な意見

大分類	大 NO	小分類	主な内容	大分類		小分類		勤務環境満足度別	
				数	%	数	%	満足	不満
やりがい	1	遣り甲斐がある、仕事が充実している	遣り甲斐がある、仕事が充実している、患者さんに満足してもらえる、達成感がある など	99	11.8%	55	6.6%	53	2
	2	業務内容に満足	仕事内容、手術が出来る、好きな仕事が出来ている、内容に満足、救急がないから、自分の興味と合致している、専門領域の研究が出来る など			41	4.9%	41	0
	3	症例数が多い	症例数が多い			3	0.4%	3	0
業務量	4	疲労していない、ゆとりがある、業務量が適度	多忙ではない、労働の密度が低い、心身ともに負担を感じない、全く無理がない、適度である、ゆとりがある、疲労することが少ない、ストレスが少ない など	90	10.8%	60	7.2%	60	0
	5	ある程度、時間が自由になる、調整しやすい	自由に使える時間がある、時間的に余裕がある、有効に使える時間がある、自分のペースで仕事ができる、ある程度融通がきく、自己訓練・学習の時間が持てる など			26	3.1%	26	0
	6	休息、休憩がとれている	休息が充分にとれている、適度か休息をとれる			4	0.5%	4	0
当直・夜勤・オンコール等	7	当直体制が整備されている、回数が少ない	当直体制が充実している、当直回数が少ない、当直日程の希望が出せる、当直、日直回数が多くない など	81	9.7%	33	3.9%	33	0
	8	当直業務が負担にならない、オンコールが少ない	当直がさほど忙しくない(睡眠、仮眠)がとれることが多い、オンコール等もなく当直業務も負担にならない、殆ど呼び出しがない、オンコールが比較的少ない など			32	3.8%	31	1
	9	当直がない、免除されている	当直がない、育児のため免除されている、年齢相応で免除される など			11	1.3%	11	0
	10	当直明けの勤務がない、軽減されている	当直明け午後の勤務免除されている、当直明けの負担が軽減されている など			5	0.6%	5	0
マネジメント	11	勤務体制、形態が整備されている	WLBが良い、勤務時間が守られている、無理のない勤務体系である、サポート体制が整備されている、勤務の融通性がある・調整しやすい、オンオフが守られている など	76	9.1%	54	6.5%	54	0
	12	人事、経営方針が良い	職員を守る姿勢がある、適正な評価がある、勤務相談など出来る、労働条件が整備されている、悪くない、要望が自由に言える 契約通りである など			22	2.6%	22	0
報酬	13	給与に満足している	給与に満足している、仕事量に見合った収入である、相応の給与である、給与体系が充実している、給与面が優遇されている など	61	7.3%	40	4.8%	40	0
	14	時間外手当がつく、申告しやすい	時間外勤務に対する正当な支払いがある、時間外手当がつく、残業相当の手当がある など			21	2.5%	21	0
組織風土・職場環境(メンタルヘルス)	15	職場環境が良い(雰囲気、設備等)	職場の雰囲気が良い、働きやすい環境、職場環境が整備されている、気分良く仕事できる環境、診療に集中できる環境 など	60	7.2%	39	4.7%	39	0
	16	人間関係が良い	人間関係が良い、人間関係のストレスがない、同僚に恵まれている、尊敬できる上司がいる、スタッフのサポートがある、スタッフの一体感がある など			21	2.5%	20	1
休暇・休日・休息	17	休日、休みがとれる	休みは希望通り取りやすい、毎月の休日は確保できている、休む環境が保たれている など	54	6.5%	39	4.7%	39	0
	18	有給休暇、休暇がとれる	年休が比較的とれる、休暇が取りやすい、有給を取得しやすい雰囲気 など			15	1.8%	15	0
時間外	19	時間外労働(残業)が少ない、ない	定時に終了する、残業は殆どない、時間外労働が少ないない、超勤がない など	40	4.8%	40	4.8%	40	0
家庭との両立	20	家庭、育児に配慮されている	家事・育児の時間が確保できる、家庭の事情に合わせた勤務や休みが取得できる、育児中を考慮されている、育児と仕事の両立が出来ている、女性医師への配慮がある など	23	2.8%	23	2.8%	23	0
人材確保	21	人員・人材が充分である、人員が増えている	医師数が多い、人員確保されている、人員が豊富 など	9	1.1%	9	1.1%	9	0
立地	22	通勤距離、立地が良い	立地の良さ、自宅との距離が近い など	3	0.4%	3	0.4%	3	0
その他	23	特になし	特になし	240	28.7%	93	11.1%	93	0
	24	満足している、不満はない	満足している、特に不満はない、特に困ったことはない、問題ない、どちらかというと満足など			82	9.8%	82	0
	25	他の、過去の勤務先や勤務環境と比べて良い	もっと過酷なことになっていたから、他より優遇されている、他も楽ではないことを知っている、他も同様だから、以前に比べてハードではない など			41	4.9%	41	0
	26	やむを得ない、このようなものと思っている	職業特性上やむを得ない、みんな同じ、何を言っても変わらないから、このようなものだと思っている、理想を言えばキリがない、仕方がない など			21	2.5%	20	1
	27	経営者である、教授であるため	教授だから、開設者だから など			3	0.4%	3	0
				836	100%	836	100%	831	5

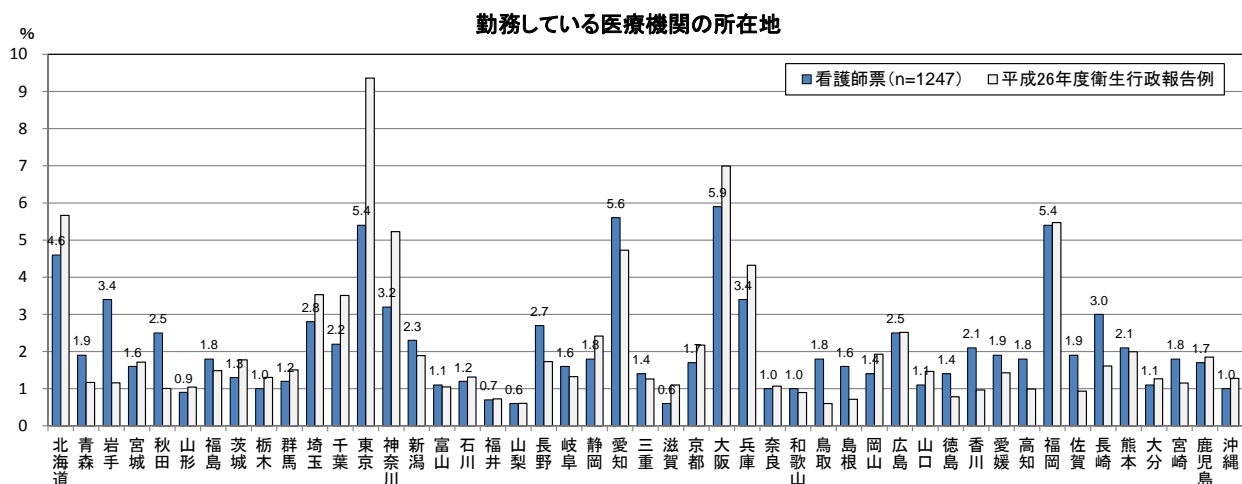
②否定的な意見

大分類	大NO	小分類	主要内容	大分類		小分類		勤務環境満足度別	
				数	%	数	%	満足	不満
業務量	1	仕事内容、仕事量に不満	仕事量が多い、雑務や事務的職務に忙殺される、全てを一人でやらなければならない、仕事量の不均等がある、不公平感がある、本来の研究業務ではなく診療優先になる など	139	24.8%	62	11.1%	6	56
	2	忙しい、身体的・精神的に負担が大きい、余裕がない	体力的にも精神的にもギリギリ、多忙である、体が辛い、ストレスが多い、体力の限界を感じる、余裕がない など			58	10.4%	19	39
	3	自由な時間がない	自分の時間が取れない、自由になれる時間がない、仕事がフリーとなる時間がない など			9	1.6%	0	9
	4	会議、学会の拘束が多い	会議が多い、会議の参加に疲れる、医療業務以外の委員会等の仕事が煩わしい など			6	1.1%	2	4
	5	休憩出来ない、休憩が少ない	休憩時間がない、休憩が取れない、休憩時間が足りない など			4	0.7%	0	4
当直・夜勤・オンコール等	6	当直明け、夜勤明け勤務の不満	当直明けの通常勤務がつらい、当直明けの休みが確保されていない、夜勤明けの連続勤務体制である、日勤から夜勤に入るのはきつい、当直明けを休みにして欲しい など	126	22.5%	52	9.3%	14	38
	7	当直・日直回数が多く、体制が悪い	夜勤が多い、当直回数が多く、当直日直がしんどい、日当直の代休がとれない、医師不足で当直回数が多く、当直室が整備されていない、当直者が偏っている など			31	5.5%	8	23
	8	当直・夜勤業務の負担、当直や夜勤のオンコール	1名体制でのオンコール、オンコール回数が多い、オンコールが多く帰宅しても休まらない、常にオンコール状態である、当直が大変、負担が大きい など			25	4.5%	5	20
	9	拘束時間が長い	拘束時間が長い、拘束日が多い、院内拘束の当番がある、診療以外の拘束時間が長い など			18	3.2%	4	14
休暇・休日	10	休日・振替が休めない・少ない、休日出勤	休日が少ない、休日が不十分、休日と呼び出される、休めない、代休も取れない、完全に休める日が少ない、連続した休暇を取りづらい など	76	13.6%	42	7.5%	7	35
	11	有給、年次休暇が取れない	有給がとれない、使えない、消化できない、取りにくい雰囲気がある など			34	6.1%	10	24
人材確保	12	人員不足、人材不足	医師が少ない、常勤医師不足、勤務者総数が不足、慢性的なマンパワー不足、代わりの者がいない、一人なので休めない など	63	11.3%	63	11.3%	10	53
報酬	13	給与が安い、労働に見合わない	格段に安い給料、労働に見合わない給与、給与が減っている、他院勤務者と比較して非常に低い、給与の低さが不満、働きに関係なく皆同じ給与に不満 など	58	10.4%	35	6.3%	4	31
	14	時間外手当がつかない、申請しづらい	超過勤務が付かない、時間外が休日は支給されない、時間外に対する支払がルーズ、臨床以外の時間外を請求できない、時間外が全く支給されない、上限が勝手に設定される など			23	4.1%	1	22
マネジメント	15	勤務体制、形態が整備されていない、不満である	勤務調整をして欲しい、恣意的なスケジュール管理である、無理な勤務体制、労働条件改善されない、WLBがほど遠い勤務体制 労働時間が長い など	55	9.8%	31	5.5%	3	28
	16	人事、経営面の問題	就職時の契約が守られていない、評価されない、評価基準が不明瞭、QOLをあげたい、職員への扱いがぞんざい、業務管理が出来ていない、意見が聞き入れられない など			24	4.3%	4	20
時間外	17	時間外労働が多い(残業)	サービス残業を強いられる、診療以外の仕事が多く残業になる、時間外の手術が多い、時間外通りに申告しづらい、時間外が過剰 など	15	2.7%	15	2.7%	2	13
組織風土・職場環境(メンタルヘルス)	18	職場環境が悪い	仕事しづらい環境である、職場環境に不満 など	10	1.8%	8	1.4%	2	6
	19	人間関係が悪い、問題がある	モラル低下の医師が多い、パワハラと思われる言動			2	0.4%	0	2
その他	20	特になし	特になし	12	2.1%	11	2.0%	0	11
	21	不満	不満だから			1	0.2%	0	1
待遇	22	家庭との両立が難しい	保育施設やシステムがない、同僚の女性医師を見ても両立は難しい状況、家族と過ごす時間が取れない など	6	1.1%	6	1.1%	1	5
				560	100%	560	100%	102	458

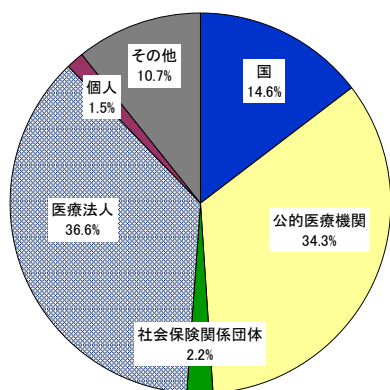
3-2 病院に勤務する看護師の調査結果

1. 回答者属性

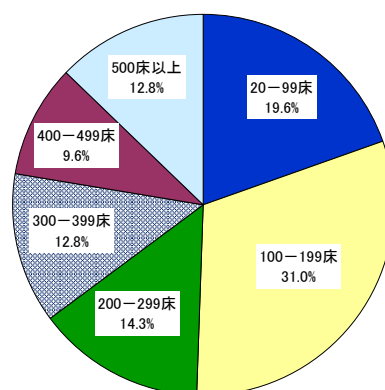
回答者属性について、国の統計と比較すると、所在地別では東京の比率が低くなっている以外は、大きな差異は見られない。年齢については、20代の回答がやや少ない。性別については、男性の回答がやや多くなっている。



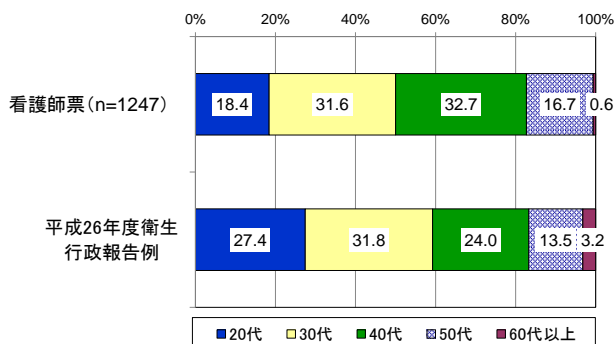
開設主体 [n=1247]



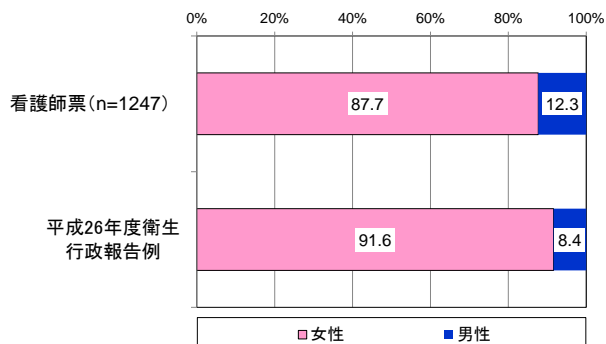
許可病床数 [n=1247]



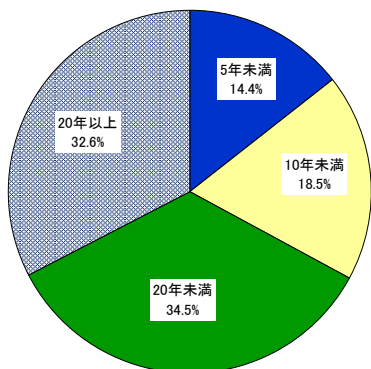
年齢



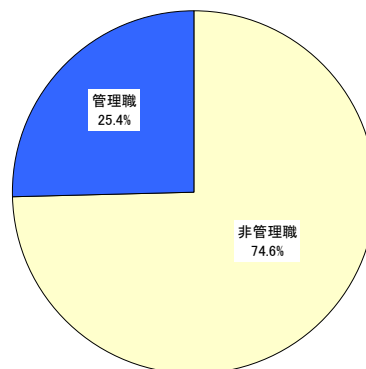
性別



看護師としてのキャリア [n=1247]



職位 [n=1247]



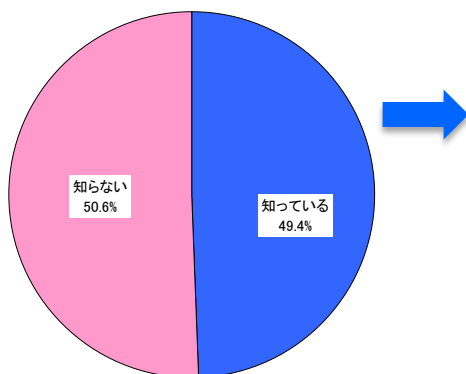
2. 働き方・休み方

(1) 労働時間

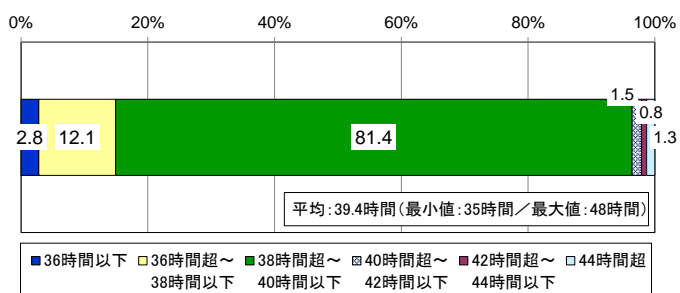
① 週所定労働時間

週所定労働時間数を「知っている」と回答した看護師は約半数であった。病院規模が小さいほど、また、年代が高いほど認知度は高い。
週所定労働時間数は平均 39.4 時間で、「38 時間超～40 時間以下」が 8 割を占めている。

就業規則等の看護師の週所定労働時間の認知 [n=1247]



週所定労働時間数 [n=602]



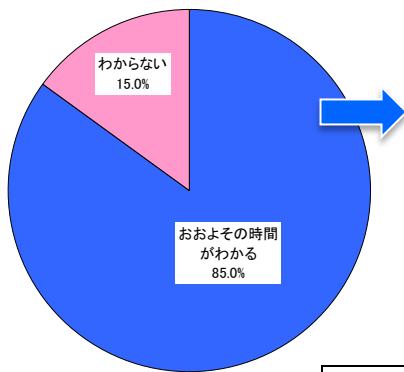
	調査数	知っている	知らない	
全体	1247	49.4	50.6	
R3. 許可病床数	20-99床	24.4	57	43
	100-199床	38.7	52.2	47.8
	200-399床	33.7	46	54
	400床以上	27.9	43	57
R4. 年齢	20代	22.9	26.2	73.8
	30代	39.4	40.1	59.9
	40代	40.8	58.3	41.7
	50代以上	21.6	74.1	25.9
Q7. 職位	非管理職	93.0	40.6	59.4
	管理職	31.7	75.1	24.9

②時間外労働時間

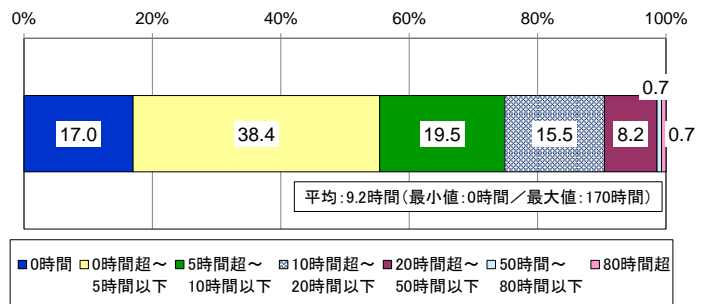
平成27年6月の時間外労働時間について「おおよその時間がわかる」と回答した看護師は85%であった。

平成27年6月の時間外労働時間数は平均9.2時間で、「0時間」が17%みられる一方で、「10時間超」は25.1%みられた。許可病床数別でみると、規模が大きいほど「10時間超」の比率が高い。時間外労働の主な理由（MA）は、「記録・報告書作成や書類の整理」が71.8%と最も高く、次いで「会議・勉強会・研修会等への参加」「緊急対応」の比率が高い。

平成27年6月の時間外労働時間数の認知 [n=1245]

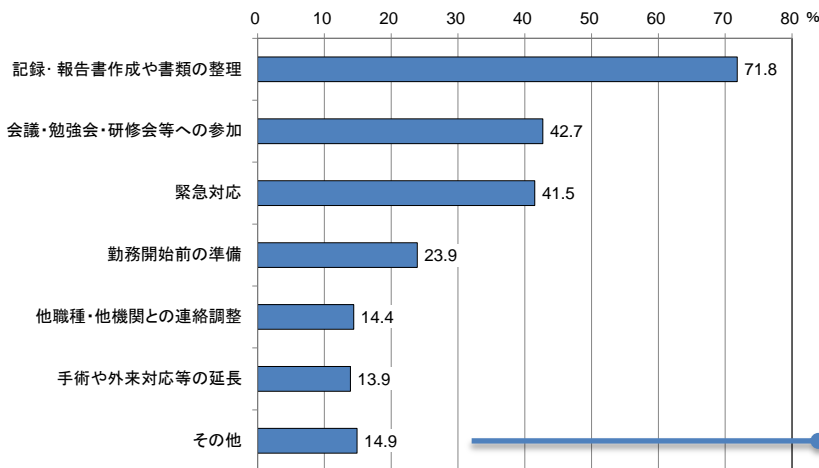


平成27年6月のおおよその時間外労働時間数 [n=1056]



		調査数	0時間	0時間超～5時間以下	5時間超～10時間以下	10時間超～20時間以下	20時間超～50時間以下	50時間超	10時間超(再掲)
全体		1056	17	38.4	19.5	15.5	8.2	1.3	25.1
R3. 許可病床数	20～99床	213	23	47.4	15	9.4	3.8	1.4	14.6
	100～199床	328	24.7	36.9	18	11.9	7	1.5	20.4
	200～399床	279	14.3	40.5	19.4	16.8	7.9	1.1	25.8
	400床以上	236	3.8	30.1	25.8	24.6	14.4	1.3	40.3
R4. 年齢	20代	175	7.4	43.4	20.6	21.1	5.7	1.7	28.6
	30代	332	16.9	41	17.2	14.8	8.4	1.8	25.0
	40代	361	15.8	36.2	24.1	13.9	9.6	1.4	23.9
	50代以上	188	28.2	33.5	13.8	14.9	9.6	-	24.5

平成27年6月の時間外労働の主な理由 [n=879]



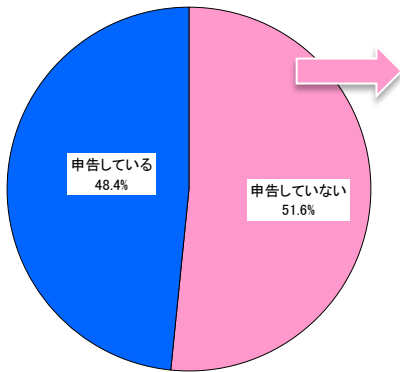
「その他」の内訳

時間外労働の主な理由	件数
患者対応(ナースコール対応含む)	34
指導・教育	19
医師の指示待ち・指示対応(回診・診察含む)	17
入院対応	9
他のスタッフの支援	8
看護研究	6
会議(委員会等)	5
薬剤・服薬管理	5
リーダー業務	4
食事介助	4
管理業務・勤務表作成	4
延長業務	3
患者家族への対応	3
記録作成	2
その他	7

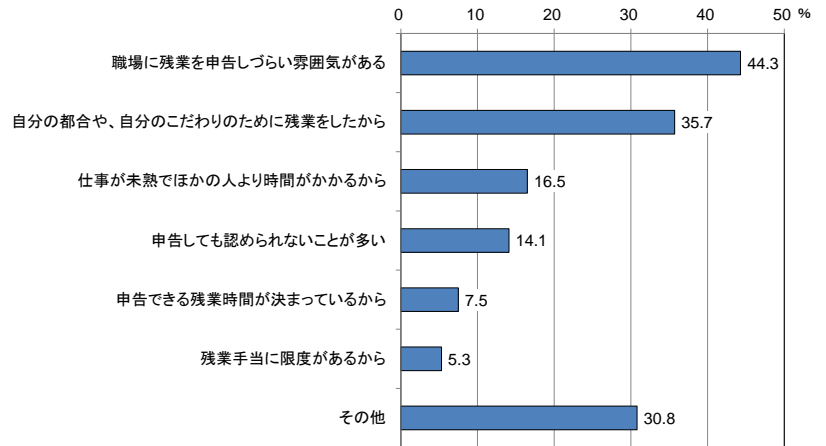
		調査数	記録・報告書作成や書類の整理	会議・勉強会・研修会等への参加	緊急対応	勤務開始前の準備	他職種・他機関との連絡調整	手術や外来対応等の延長	その他
全体		879	71.8	42.7	41.5	23.9	14.4	13.9	14.9
R3. 許可病床数	20～99床	165	64.8	35.2	34.5	16.4	15.8	21.2	11.5
	100～199床	247	69.2	45.7	36.4	23.1	13.4	10.9	12.6
	200～399床	240	73.3	40.8	46.3	24.6	13.3	11.3	16.3
	400床以上	227	78	46.7	47.1	29.5	15.9	14.5	18.5
R4. 年齢	20代	162	82.7	35.2	41.4	29	9.9	16.7	13.0
	30代	276	71.7	42.8	46.7	26.4	8.3	14.1	14.5
	40代	305	68.5	44.9	40.3	20.3	21.3	12.8	16.7
	50代以上	136	66.2	46.3	33.8	20.6	16.9	12.5	14.0

時間外労働時間の申告状況を見ると、時間外労働時間通りに申告しているのは、看護師の約半数であった。他方、申告していない人の申告しない理由としては (MA)、「職場に残業を申告しづらい雰囲気がある」の比率が高く、次いで「自分の都合や自分のこだわりのために残業したから」の比率が高い。
 時間外労働時間に対する手当の支払いについては、「支払われていない」が3.1%みられた。

時間外労働時間の申告状況 [n=879]

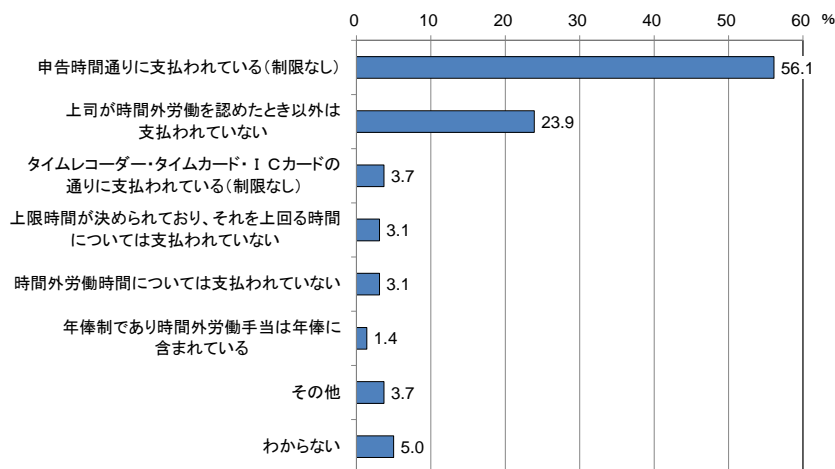


時間外労働時間を時間外労働時間通り申告しない理由 [n=454]



申告しない理由	件数
管理職のため	35
勤務開始前なので(認められない、申告しづらい、申告する必要を感じない)	23
短時間(1時間程度)なので	11
看護業務以外(委員会や会議等)は申請しない/認められない	18
残業=能力不足と思われそうなので	6
申告できる業務とできない業務がある	4
年俸制のため	4
管理業務のため	6
自分のための準備なので	3
上司からのプレッシャー	3
申告が面倒	3
申告する必要がない	3
許可制なので	2
時間外が当たり前になっているので	2
申告しづらい(申告しないという雰囲気、他の人も申請していない)	6
申告を忘れる	2
その他	9

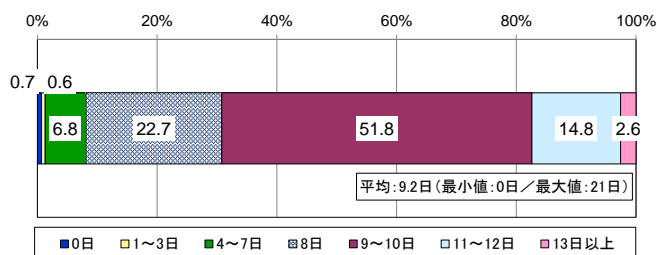
時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われているか [n=1246]



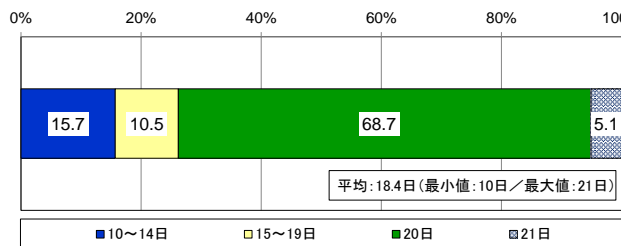
(2) 休日・休暇

平成27年6月の休日日数は、平均9.2日で、「9～10日」が半数を占める。
 年次有給休暇については、平成26年度の年次有給休暇付与日数(前年度の繰り越し分は含めない。)平均18.4日に対し、取得日数は平均8.4日であった。取得日数の分布をみると、「0日」と回答した看護師が7.5%みられる一方、「13日以上」が2割以上みられた。許可病床数別でみると、規模が小さい病院ほど年次有給休暇の取得日数が多く、20-99床の病院では「13日以上」の取得者が3割を占めている。

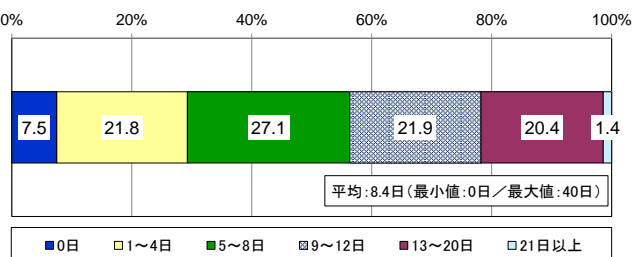
平成27年6月の休日日数(実際に業務を休んだ日数) [n=1247]



平成26年度の年次有給休暇付与され(てい)た日数 [n=884]



平成26年度の年次有給休暇取得した日数 [n=1244]

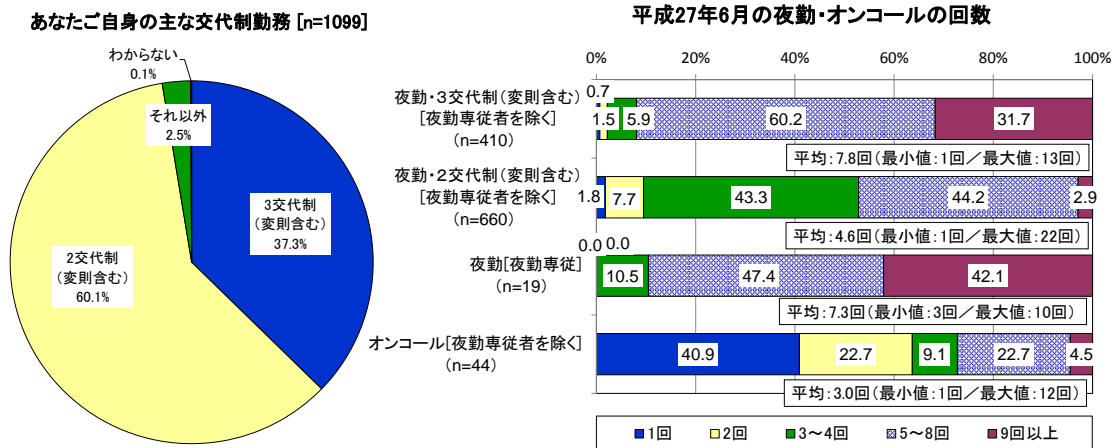


		調査数	0日	1~4日	5~12日	13日~20日	21日以上	13日以上(再掲)
全体		1244	7.5	21.8	49.0	20.4	1.4	21.8
R3. 許可病床数	20-99床	243	8.2	14.8	47.7	27.6	1.6	29.2
	100-199床	387	7.2	22.0	45.5	24.0	1.3	25.3
	200-399床	335	7.8	25.1	46.9	18.8	1.5	20.3
	400床以上	279	6.8	23.7	57.3	11.1	1.1	12.2
R4. 年齢	20代	228	6.1	25.4	51.8	15.8	0.9	16.7
	30代	393	8.4	23.2	44.5	23.2	0.8	23.9
	40代	407	7.1	18.9	51.4	20.4	2.2	22.6
	50代以上	216	7.9	20.8	49.5	20.4	1.4	21.8

(3) 夜勤

交代制勤務の種類別をみると、「2交代制（変則含む）」が6割、「3交代制（変則含む）」が4割弱であった。

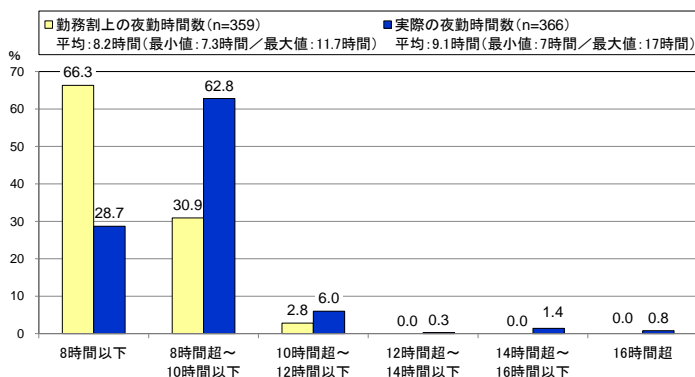
平成27年6月に夜勤を行った看護師（n=1098）に夜勤回数を尋ねたところ、「3交代制（変則含む）」は平均7.8回、「2交代制（変則含む）」は平均4.6回であった。同月にオンコールを受けた看護師（n=44）のオンコール回数は平均3.0回であった。



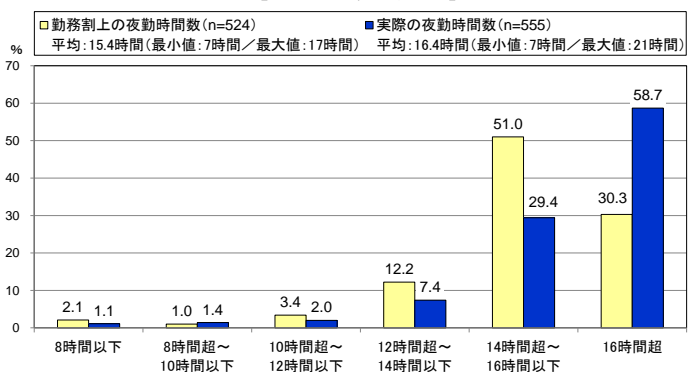
交代制の種類別に勤務割の夜勤時間数と実際の夜勤時間数をみると、3交代制（変則含む。）では、勤務割では平均8.2時間で「8時間以下」が2/3を占めるが、実際の夜勤時間は平均9.1時間で「8時間超～10時間以下」が2/3を占めている。一方、2交代制（変則含む。）では、勤務割では平均15.4時間で「14時間超～16時間以下」の割合が5割となっているが、実際の夜勤時間は平均16.4時間で「16時間超」が6割弱を占めている。

なお、夜勤の際の休憩・仮眠時間は、3交代制（変則含む。）で平均0.8時間、2交代制（変則含む。）で平均2.0時間であった。

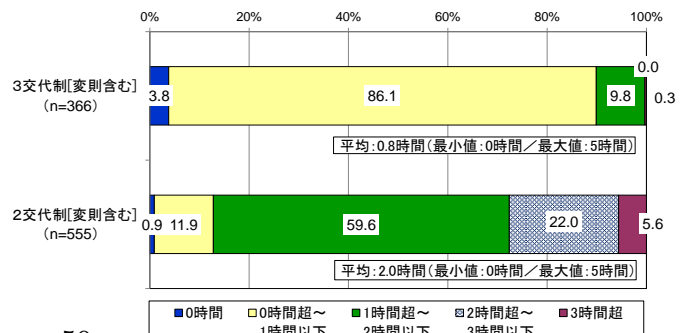
平成27年6月の夜勤1回あたりの勤務割の夜勤時間数と実際の夜勤時間数 【3交代制(変則含む)】



平成27年6月の夜勤1回あたりの勤務割の夜勤時間数と実際の夜勤時間数 【2交代制(変則含む)】

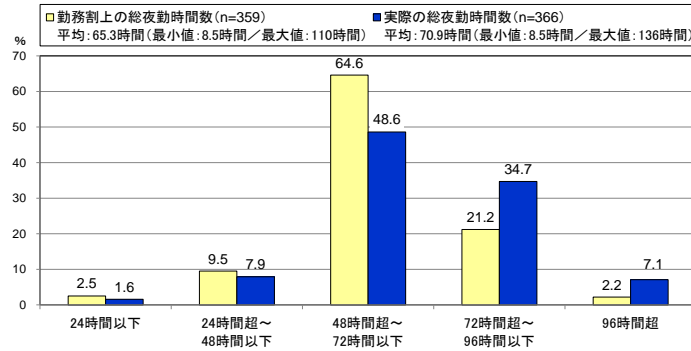


平成27年6月の夜勤1回あたりの実際の休憩・仮眠時間数

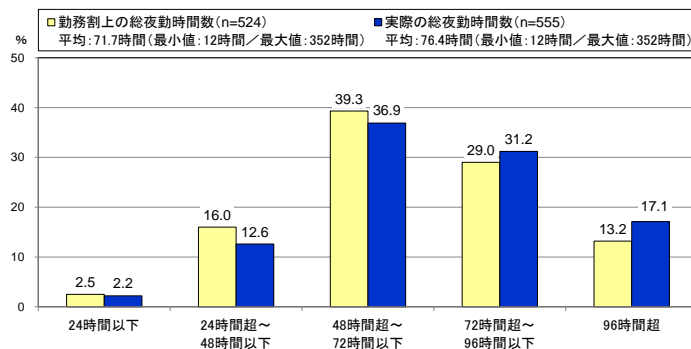


平成 27 年 6 月の夜勤回数と夜勤時間から、1 か月間の勤務割上の総夜勤時間数をみると、3 交代制（変則含む。）では月平均 65.3 時間で、2 交代制（変則含む。）では月平均 71.7 時間である。いずれの交代制でも、勤務割及び実際の夜勤時間ともに「48 時間超～72 時間以下」の割合が最も多く、次いで「72 時間超～96 時間以下」の割合が高い。また、3 交代制（変則含む。）と 2 交代制（変則含む。）では、2 交代制（変則含む。）の方が、1 か月間の総夜勤時間数が長くなっている。

平成27年6月の勤務割の総夜勤時間数と実際の総夜勤時間数
【3交代制(変則含む)】



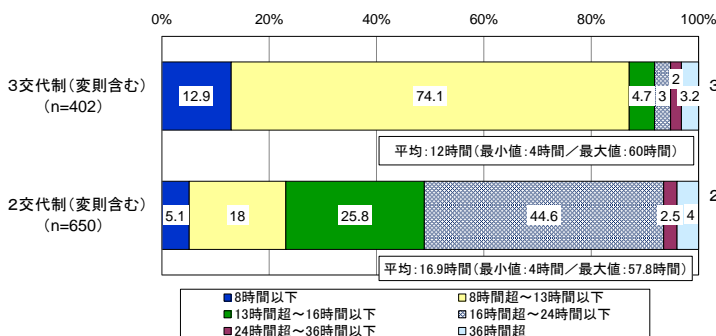
平成27年6月の勤務割の総夜勤時間数と実際の総夜勤時間数
【2交代制(変則含む)】



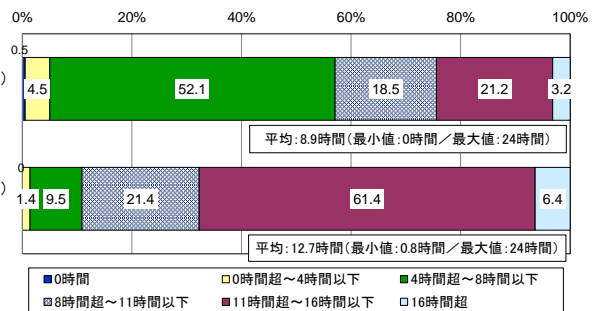
平成 27 年 6 月の最長連続勤務時間は「3 交代制（変則含む）」は平均 12 時間で、「8 時間超～13 時間以下」の比率が 74.1%と最も高く、「2 交代制（変則含む）」は平均 16.9 時間で、「16 時間超～24 時間以下」の比率が 44.6%と最も高い。

一方、勤務終了から次の勤務開始までの最も短い時間間隔を見ると、「3 交代制（変則含む）」は平均 8.9 時間で、「4 時間超～8 時間以下」の比率が 52.1%と最も高く、「2 交代制（変則含む）」は平均 12.7 時間で、「11 時間超～16 時間以下」の比率が 61.4%と高い。

平成27年6月の最長連続勤務時間



平成27年6月の当日の勤務(時間外労働を含む)の終了から次の勤務開始までの間隔が最も短い時間

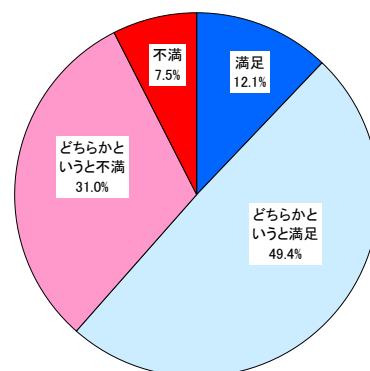


3. 勤務環境に対する満足状況

(1) 勤務環境に対する満足度

勤務環境に対する満足度を見ると、満足度（「満足」及び「どちらかという満足」）は61.5%で、医師の満足度を下回った。不満を感じている看護師は、医師同様、「公的医療機関」「400床以上」の比率が高く、また、女性の比率も高い。不満を感じている看護師では、時間外労働時間数が長い、職場に残業を申告しづらい雰囲気がある、夜勤の回数が多く、夜勤の拘束時間や実際の夜勤時間も長い、最長連続勤務時間は長い一方、業務と業務の間隔が短い等、満足している人に比べ、働き方・休み方に課題がみられる。

今の勤務環境の満足度 [n=1247]



※設問によりサンプル数が異なる点に留意

	満足+どちらかという満足	不満+どちらかという不満
開設主体（上位2つ）	医療法人 41.9% 公的医療機関 29.1%	公的医療機関 42.7% 医療法人 28.3%
許可病床数	400床以上 19.9% (99床以下 22.0%)	400床以上 26.3% (99床以下 15.6%)
年代	(差がない)	
性別	女性 85.4%/男性 14.6%	女性 91.5%/男性 8.5%
キャリア	(差がない)	
職位	(差がない)	
平成27年6月のおおよその時間外労働時間数	平均 6.3 時間	平均 14.0 時間
平成27年6月のおおよその時間外労働時間数 10時間超の比率	16.2%	39.4%
時間外労働時間を申告している比率	56.1%	37.3%
時間外労働時間を時間外労働時間通り申告しない理由（最も比率の高い項目）	自分の都合や、自分のこだわりのために残業をしたから 42.3%	職場に残業を申告しづらい雰囲気がある 58.6%
時間外労働時間に対する時間外労働手当の支払い状況（「申告時間通りに支払われている（制限なし）」比率）	60.8%	48.6%
平成27年6月の休日日数（実際に業務を休んだ日数）	平均 9.3 日 9日以上 71.1%	平均 9.1 日 9日以上 66.3%
平成26年度の年次有給休暇を取得した日数と取得13日以上以上の比率	平均 8.9 日 13日以上 25.2%	平均 7.5 日 13日以上 16.3%
平成27年6月の夜勤回数と5回以上の比率	平均 5.6 回 5回以上 58.2%	平均 6.2 回 5回以上の比率 71.6%
交代制勤務	2交代制（変則含む） 65.1%	2交代制（変則含む） 56.5%
夜勤の拘束時間と実労働時間	拘束平均 12.8 時間 実労働時間平均 13.5 時間 休憩・仮眠時間 1.7 時間	拘束平均 12.1 時間 実労働時間平均 13.4 時間 休憩・仮眠時間 1.4 時間
平成27年6月の最長連続勤務時間	平均 14.3 時間 8時間以下 11.6%	平均 15.6 時間 8時間以下 6.79%
平成27年6月の当日の勤務の終了から次の勤務開始までの間隔が最も短い時間	平均 11.9 時間 12時間超 49.5%	平均 10.5 時間 12時間超 27.6%

(2) 自由意見の分類

回答総数 1248 票中、勤務環境に対する自由記述記入率は 98.3%である。自由記述を分類したところ 1855 件（重複カウント）で、一人当たり 1.5 件の意見が寄せられた。

意見を肯定的な意見と否定的な意見に分類したところ、肯定的意見 930 件（50.1%）、否定的な意見 897 件（48.4%）と半々となっている。

肯定的な意見は職場環境に満足している看護師からの意見が大半を占め、「休日・休暇」「時間外」「組織風土・職場環境」「マネジメント」を評価している。また、「やりがい」を感じている意見も見られた。一方、否定的な意見は、「時間外」「当直・夜勤・オンコール等」「休暇・休日」「人材確保」「業務量」「マネジメント」への意見が多い。

①肯定的な意見

大分類	大NO	小分類	主な内容	大分類		小分類		勤務環境満足度別	
				数	%	数	%	満足	不満
休暇・休日	1	休日がある、公休が休める、休日が確保されている	休みの希望が通る、取りやすい、休みが確保できている、休みがしっかり休める、公休が多い など	200	21.5%	114	12.3%	111	3
	2	有給休暇、休暇がとれる	有給休暇、年次休暇が取得できる、取りやすい、消化率が良い、希望にそった休暇が取りやすい など			86	9.2%	84	2
時間外	3	時間外労働(残業)が少ない、ない	残業が少ない、残業が殆どない、定時に終了する、長い時間外が少ない、超過勤務が少ない など	183	19.7%	150	16.1%	143	7
	4	時間外手当がつく、申告しやすい	申告した通りに認めて貰える、残業代は出る、サービス残業がない、申告しやすい など			33	3.5%	31	2
組織風土・職場環境(メンタルヘルス)	5	人間関係が良い	人間関係が良好、上司とのコミュニケーションが取りやすい、スタッフの関係性が良い、雰囲気が良い、強力体制がある、風通しが良い、チームワークが良い、上司に恵まれている など	164	17.6%	93	10.0%	88	5
	6	職場環境が良い	働きやすい環境、自分に合った環境、職場環境が良い、落ち着いて仕事ができる環境 など			40	4.3%	40	0
	7	慣れているから	長年勤めて慣れている、環境に慣れている など			18	1.9%	18	0
	8	負担が少ない、疲れない、ストレスが少ない	精神的に安定する、身体的・精神的な負担が少ない、体力的に問題がない、無理な勤務負担がない など			13	1.4%	13	0
マネジメント	9	勤務体制、勤務形態が整備されている(満足している)	WLBの取組がある、勤務時間が守られている、勤務時間の短縮が図られている、シフト管理がしっかりしている、勤務形態が良好、勤務間隔、編成がしっかりしている など	81	8.7%	73	7.8%	73	0
	10	人事、経営方針が良い	就業契約通りの就業、勤務希望を聞いてくれる、通りやすい、人員配置を考慮している、業務改善に取り組んでいる、労働条件が良い など			8	0.9%	8	0
夜勤・交代制	11	夜勤体制が整備されている	夜勤が少ない、夜勤が短い、夜勤回数が管理されている、夜勤後の休日が確保されている、夜勤スタッフ数が確保されている など	58	6.2%	32	3.4%	32	0
	12	交代制勤務について	3交代と2交代どちらか選択できる、2交代制が合っている、2交代制の方が楽、3交代制は時間が短いので良い など			26	2.8%	25	1
やりがい	13	仕事にやり甲斐を感じる、充実している	やり甲斐がある、仕事に充実している、達成感がある など	47	5.1%	29	3.1%	28	1
	14	業務内容に満足している	仕事内容、質が合っている、慢性期病院が合っている、希望する仕事内容である など			18	1.9%	18	0
家庭との両立	15	家庭に配慮、育児に配慮されている	家庭の事情に配慮した勤務形態、子育てに合わせて交代制を選択できる、育児休暇がとれる、とりやすい、子育てに柔軟に対応できる勤務、両立しやすい環境、母性保護環境が良い、家庭の都合に合わせた勤務時間 など	31	3.3%	31	3.3%	31	0
報酬・福利厚生	16	給与が良い、満足している	給与に満足している、給料が良い、給料が安定している、業務に見合った給与である など	23	2.5%	10	1.1%	10	0
	17	福利厚生が良い	福利厚生が良い、しっかりしている、充実している など			7	0.8%	7	0
	18	手当が出る(夜勤、休日)	夜勤手当が出る、高い、休日手当、特別手当が出る など			6	0.6%	6	0
処遇	19	管理者、管理業務について	管理職の時間外労働などやむをえない点だと思うから、管理職で自分の裁量で仕事ができる など	8	0.9%	8	0.9%	8	0
立地	20	通勤距離、立地が良い	通勤時間が短い、職場が近い、通勤が便利 など	7	0.8%	7	0.8%	7	0
人材育成	21	研修等の教育の充実	研修への参加、研修制度がしっかりしている、職員教育が充実している など	7	0.8%	7	0.8%	7	0
業務量	22	休息、仮眠がとれる	十分な休息時間が確保されている、深夜前に休む時間がある など	5	0.5%	5	0.5%	5	0
人材確保	23	人員、人材が充足している	マンパワーが確保されている、看護補助者の数が充分、看護師人数が確保されている など	3	0.3%	3	0.3%	3	0
その他	24	特になし	特になし、なし、回答なし	113	12.2%	63	6.8%	55	8
	25	満足である、とくに不満はないから	特に不満がないから、現状に満足、ある程度満足している、問題ない、まあまあ など			35	3.8%	34	1
	26	他と比べて良い、どこも同じ	他に比べて良い、他と大きく変わらないから、どこも同じ など			15	1.6%	15	0
				930	100%	930	100%	900	30

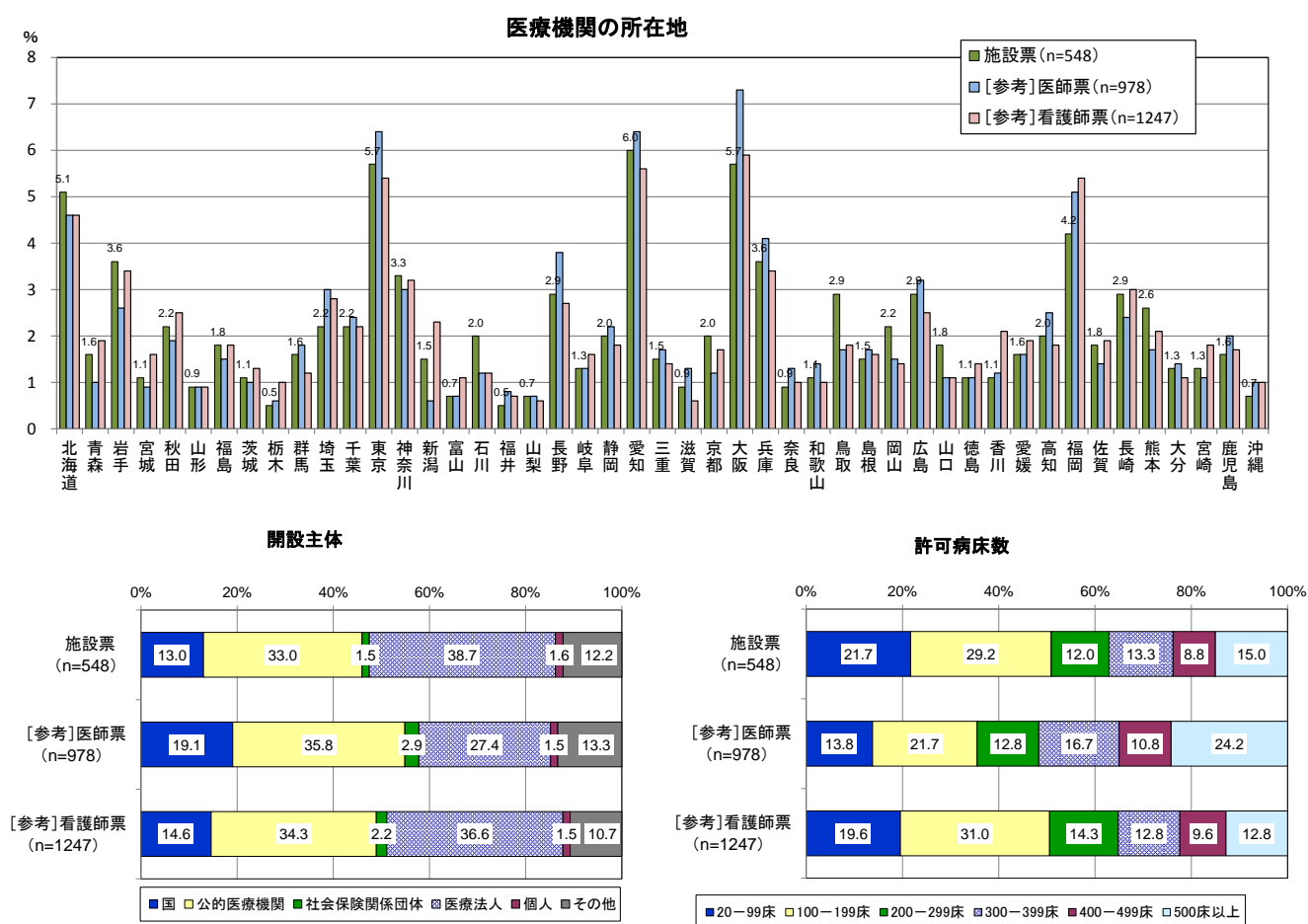
②否定的な意見

大分類	大NO	小分類	主な内容	大分類		小分類		勤務環境満足度別	
				数	%	数	%	満足	不満
時間外	1	時間外労働が多い(残業)	業務が時間内に終わらない、残業が増えた、時間外勤務が多い、時間外が前提のスケジュールになっている、超過勤務が多い、時間外が解消されない、絶対、定時には終わらない など	202	22.5%	108	12.0%	10	98
	2	時間外手当がつかない、申請しづらい	時間外手当が少ない、残業申請がしづらい、サービス残業がある、始業前は申告できない、時間外が認められない時がある、時間外分の手当を貰えない、超過勤務が殆どつかない、仕事効率が悪いからと貰えない、後輩の指導等は超過に当てはまらない など			55	6.1%	1	38
	3	会議、研修会が多い、会議等は時間外である	時間外の会議や研修会が多い、勉強会の資料作成など残務が多い、会議が多く業務が遅れる、委員会等は超過勤務扱いにしてほしい、会議や研修会は時間外申告は出来ない など			39	4.3%	7	48
当直・夜勤・オンコール等	4	夜勤体制、夜勤時間等不満がある	夜勤回数が多い、年齢的に夜勤が辛い、夜勤明けの日勤が辛い、夜勤明けの休みが少ない、夜勤の業務が多い、夜勤時のスタッフが足りない、夜勤体制が悪い・不満、夜勤の拘束時間が長い など	156	17.4%	90	10.0%	0	15
	5	休憩時間や休憩場所がない、仮眠ができない	休憩時間が取れない、休憩時間が充分ではない、夜勤の仮眠ができない、夜勤の休憩がとれない、休憩室が不十分である、日勤から夜勤までの時間が短く休息がない など			32	3.6%	1	15
	6	交代制、交代制の時間等に不満がある	3交代制の半日休みは休んだ気がしない、2交代制は時間が長い、3交代制の日勤勤務から深夜勤務がづらい など			16	1.8%	15	75
	7	当直明けの勤務、当直時間に不満がある	当直時間が長い、当直翌日を休日にしてほしい、当直明けの勤務、残務に不満、当直の業務が多い、当直ではなく夜勤にしてほしい など			15	1.7%	0	3
8	夜勤のオンコール、ナースコールの負担	夜勤のオンコールで休めない など	3	0.3%	4	28			
休暇・休日	9	有給休暇が取れない、取りにくい	有給が消化できない、年次休暇が取りづらい、休暇が取れない、有給休暇が希望通り取れない、長期休暇が取れない、自由にならない など	140	15.6%	80	8.9%	1	15
	10	休日が休めない、少ない、休日出勤がある、希望が出しにくい	希望の休みが取れない、希望が出しにくい、休日にも出勤することがある、休日が少ない、休日にも電話等が入る など			44	4.9%	15	65
	11	連休日がない、取れない	連休した休日が取れない、単発の休みが続く、週休2日ではない、月に1回だけである など			16	1.8%	5	39
人材確保	12	人員不足、人材不足	常勤看護師が不足、人手不足で負担が大きい、人員不足、看護師不足、スタッフが減少した、仕事量に対する人員不足、非常勤スタッフや派遣が多く負担が増える、看護師不足でギリギリの状態 など	109	12.2%	109	12.2%	12	97
業務量	13	忙しすぎる、多忙である、疲れる、仕事量が多い、負担が大きい	精神的にも肉体的にも疲弊している、一人の仕事量が多い、多忙すぎる、疲れる、眠たい、疲れがとれない、体がもたない など	90	10.0%	90	10.0%	12	78
マネジメント	14	勤務条件、勤務管理の問題	勤務形態全般、勤務が不規則、部署に差がありすぎる、業務が煩雑、時間管理が出来ていない、勤務調整が成されていない、要望等が聞き入れられていない、システムが整備されていない など	78	8.7%	57	6.4%	3	54
	15	人事管理、経営面の問題	業務改善されない、離職率が増加している、職員配置が適切ではない、昇給がない、評価が不明確、病院側の対応に不満がある、患者以外の業務が増えている など			21	2.3%	2	19
報酬・福利厚生	16	給与が安い	給与が安い、労働内容と給与が割が合わない、給与面の改善 など	46	5.1%	34	3.8%	1	8
	17	手当がない、少ない(休日、夜勤、扶養等)	休日出勤の手当がない、休日出勤手当が欲しい、夜勤手当に不満がある、手当が少ない など			9	1.0%	2	32
	18	待遇、福利厚生面がない、悪い	報酬福利厚生がない、扶養や手当保障がない			3	0.3%	2	13
組織風土・職場環境(メンタルヘルス)	19	人間関係、仕事環境	バフハラがある、医師との連携がうまく図れない、コミュニケーションが少ない、人間関係が良くない など	41	4.6%	25	2.8%	3	22
	20	ストレスが大きい	精神的ストレスが大きい、種々のストレスがある、不安や緊張が大きい など			16	1.8%	2	14
家庭との両立	21	家庭との両立が難しい、育児スタッフの負担が掛かる	家族との時間を持ってない、産休・育児の補充がない、育児がとれない、子育て中の夜勤が辛い など	15	1.7%	15	1.7%	1	14
処遇	22	管理者、管理業務	管理職が少ない、管理職になり時間外が増えた、管理職の負担が大きい、管理職で時間外がつけられない、スタッフ同様業務に管理業務が加わる など	15	1.7%	15	1.7%	0	3
やりがい	23	遣り甲斐がない、仕事つまらない	仕事つまらない、遣り甲斐がない現状がある、楽しみを見いだせない など	5	0.6%	5	0.6%	1	4
				897	100%	897	100%	100	797

3-3 施設の調査結果

1. 回答者属性

施設票も全国から回答が得られた。開設主体は「医療法人」「公的医療機関」の比率が高く、両者で7割を占めている。許可病床数は「100-199床」が3割、「20-99床」が2割と中小病院が半数を占め、最も多い病床は「一般病床」で7割を占める。精神病床を除く医療機能を見ると（n=478）、「急性期」が6割で、「高度急性期」と合わせると7割が急性期病院である。標榜している診療科は、「内科」「整形外科・リハビリテーション科」「外科」の比率が高くなっており、許可病床数で差がみられる。



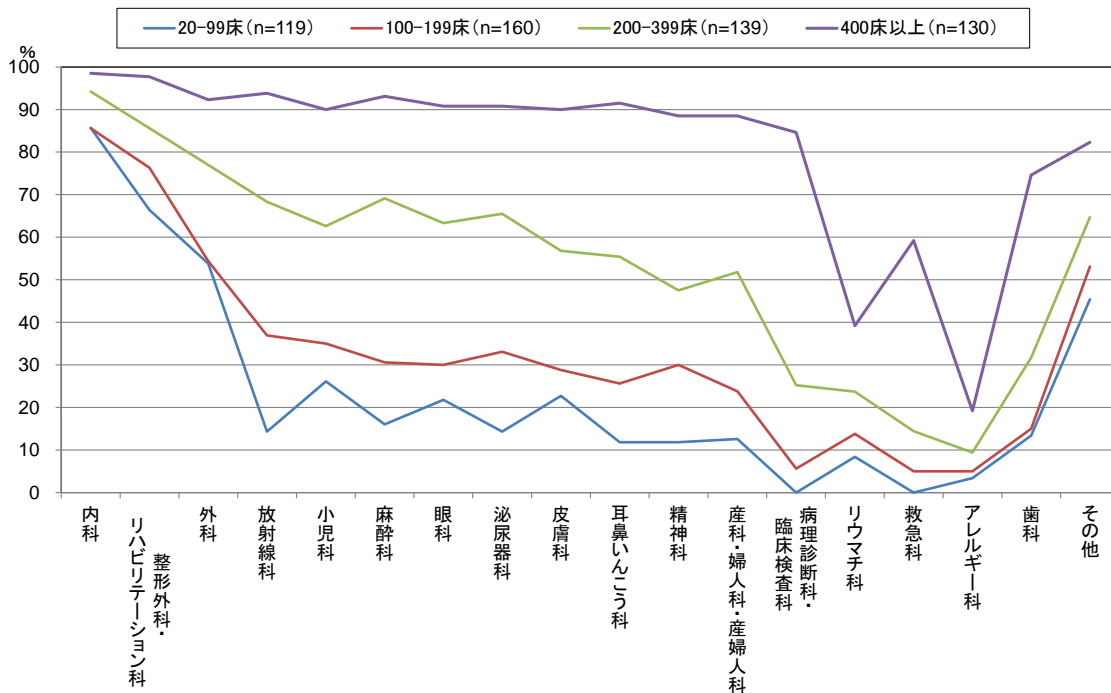
		調査数	20-99床	100-199床	200-399床	400床以上
全体		548	21.7	29.2	25.4	23.7
R2. 開設主体	国・公的	252	11.5	17.5	31.3	39.7
	国・公的以外	296	30.4	39.2	20.3	10.1

		調査数	一般病床	精神病床	療養病床
全体		536	72.8	9.3	17.9
R2. 開設主体	国・公的	249	91.2	3.6	5.2
	国・公的以外	287	56.8	14.3	28.9
RQ3.許可病床数	20-99床	113	69.0	0.9	30.1
	100-199床	154	56.5	14.9	28.6
	200-399床	139	73.4	13.7	12.9
	400床以上	130	94.6	5.4	-

	病床利用率(%)		平均在院日数(日)	
	平成26年度	平成27年度 6月	平成26年度	平成27年度 6月
全体	82.7	82.0	99.1	94.7
一般病床	80.1	79.4	21.2	20.2
精神病床	87.4	87.2	328.2	314.1
療養病床	91.4	90.8	273.3	262.6

		調査数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
全体		489	9.8	58.9	7.2	24.1
R2. 開設主体	国・公的	239	15.9	68.2	4.6	11.3
	国・公的以外	250	4.0	50.0	9.6	36.4
RQ3.許可病床数	20-99床	116	-	47.4	12.1	40.5
	100-199床	132	0.8	51.5	13.6	34.1
	200-399床	119	1.7	78.2	1.7	18.5
	400床以上	122	36.9	59.0	0.8	3.3
RQ3.1.最も多い病床	一般病床	383	12.5	75.2	4.4	7.8
	精神病床	-	-	-	-	-
	療養病床	95	-	-	16.8	83.2

標榜している診療科目(許可病床数別)



職員数

(単位:人)

	調査数	職員数	フルタイム勤務・正規		医師数	フルタイム勤務・正規		看護師数	フルタイム勤務・正規		
			男性	女性		男性	女性		男性	女性	
全体	503	450	351	248	69	43	8	208	187	169	
R2. 開設主体	国・公的	232	621	475	331	99	62	11	307	278	251
	国・公的以外	271	303	244	176	43	27	6	123	109	99
RQ3.許可病床数	20-99床	110	93	65	49	15	6	1	35	30	28
	100-199床	155	207	163	117	18	9	1	82	69	62
	200-399床	128	449	360	257	46	32	6	210	186	164
	400床以上	110	1150	889	621	221	140	28	556	511	465
RQ3.1.最も多い病床	一般病床	354	567	439	309	93	58	11	268	241	220
	精神病床	43	199	167	113	13	8	1	86	79	55
	療養病床	94	159	133	100	11	5	1	57	49	45
RQ3.3.最も多い病床の医療機能	高度急性期	37	1580	1192	815	378	228	45	718	668	612
	急性期	266	488	383	273	66	43	8	236	210	191
	回復期	35	210	164	113	25	10	2	71	58	54
	慢性期	114	179	143	106	13	7	1	72	63	57

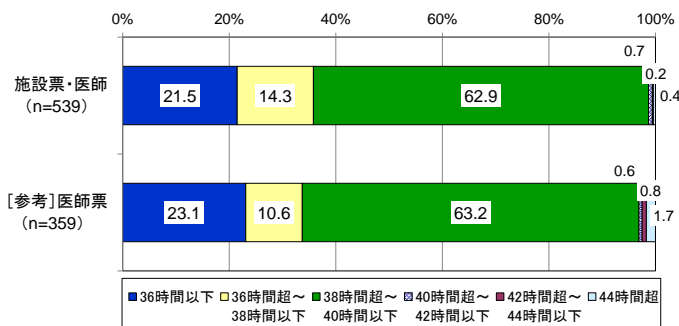
2. 労働管理

(1) 労働時間管理

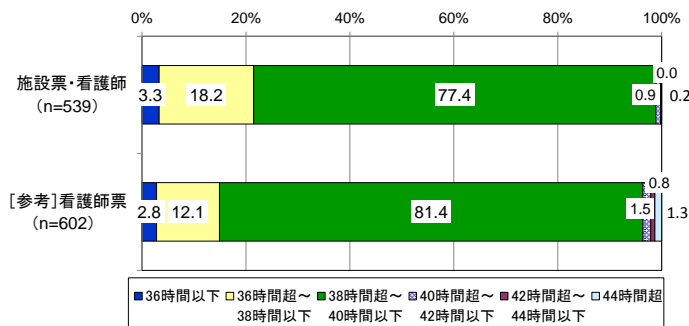
① 週所定労働時間

週所定労働時間数は、医師・看護師ともに、「38時間超～40時間以下」の比率が高く、医師票及び看護師票と比較してほぼ同様である。労働時間の管理方法(MA)は、「出勤簿・管理簿」が7割を占め、時間外労働の把握の方法(MA)は、「上司からの命令で申告させる」病院が7割強と高い。「国・公的以外」の病院に比べ「国・公的」病院の方が、また、規模が大きい病院の方が「出勤簿・管理簿」による管理や「上司からの命令での申告」の比率が高い。

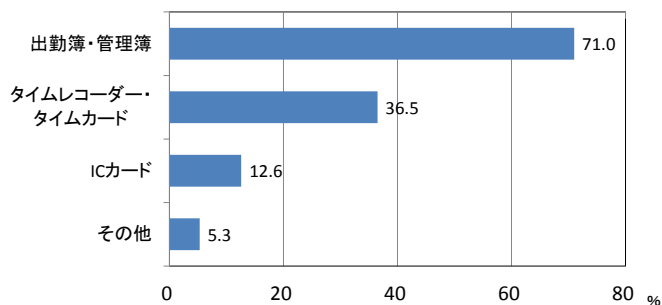
週所定労働時間数【医師】



週所定労働時間数【看護師】

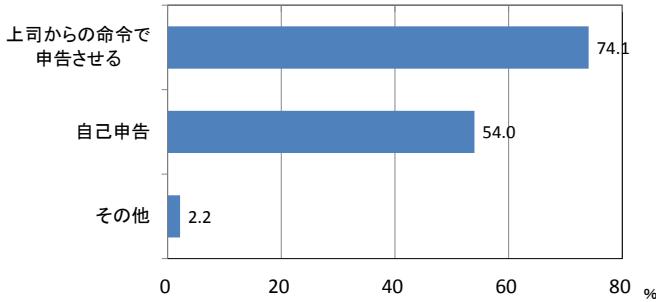


労働時間の管理方法 [n=548]



	調査数	出勤簿・管理簿	タイムレコーダー・タイムカード	ICカード	その他	
全体	548	71.0	36.5	12.6	5.3	
R2. 開設主体	国・公的	252	84.1	13.5	9.1	7.1
	国・公的以外	296	59.8	56.1	15.5	3.7
RQ3.許可病床数	20-99床	119	59.7	50.4	6.7	5.9
	100-199床	160	68.1	48.8	10.6	5.6
	200-399床	139	74.8	27.3	17.3	5.8
	400床以上	130	80.8	18.5	15.4	3.8
RQ3.1.最も多い病床	一般病床	390	73.1	28.2	14.6	6.4
	精神病床	50	64.0	54.0	8.0	4.0
	療養病床	96	66.7	59.4	7.3	-
RQ3.3.最も多い病床の医療機能	高度急性期	48	93.8	10.4	12.5	6.3
	急性期	288	71.9	31.3	13.9	5.9
	回復期	35	65.7	42.9	14.3	11.4
	慢性期	118	64.4	51.7	9.3	1.7

時間外労働の把握方法 [n=548]

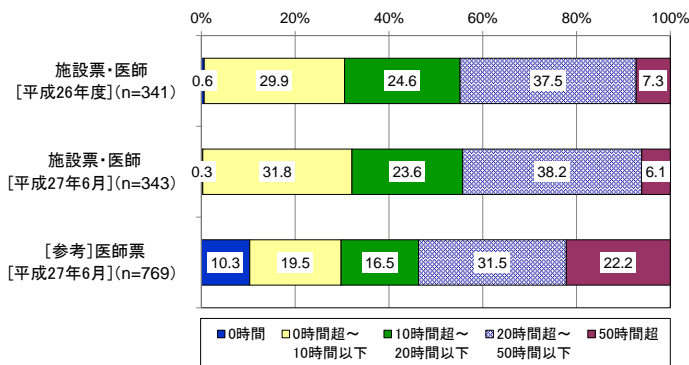


	調査数	上司からの命令で申告させる	自己申告	その他	
全体	548	74.1	54.0	2.2	
R2. 開設主体	国・公的	252	79.8	44.4	0.8
	国・公的以外	296	69.3	62.2	3.4
RQ3. 許可病床数	20-99床	119	64.7	58.0	4.2
	100-199床	160	69.4	58.8	2.5
	200-399床	139	79.1	51.1	2.2
	400床以上	130	83.1	47.7	-
RQ3.1. 最も多い病床	一般病床	390	74.6	53.1	2.1
	精神病床	50	74.0	46.0	2.0
	療養病床	96	70.8	63.5	3.1
Q3.3. 最も多い病床を有する医療機能	高度急性期	48	89.6	45.8	-
	急性期	288	71.5	55.9	2.4
	回復期	35	80.0	45.7	2.9
	慢性期	118	72.0	59.3	2.5

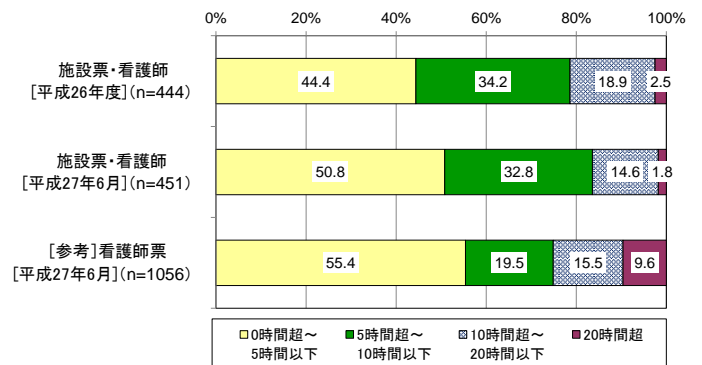
②時間外労働時間数

フルタイム勤務の正規職員の医師の平均時間外労働時間数は、平成26年度、平成27年6月ともに「20時間超～50時間以下」の比率が高く4割を占める。一方、フルタイム勤務の正規職員の看護師の平均時間外労働時間数は、平成26年度、平成27年6月ともに「0時間超～5時間以下」の比率が高く、5割を占める。医師、看護師ともに、規模の大きい病院ほど時間外労働時間が多い。時間外労働手当の支払い（MA）については、「申告通りに支払っている（制限なし）」の比率が高く、次いで「上司が認めたとき」の比率が高い。

平均時間外労働時間数【医師】



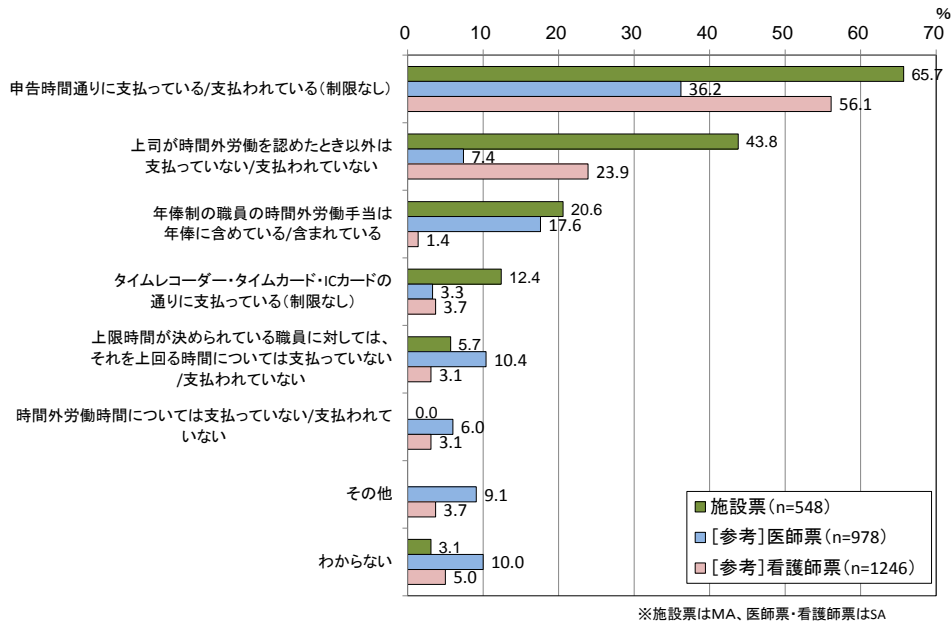
平均時間外労働時間数【看護師】



	調査数	0時間	0時間超～10時間以下	10時間超～20時間以下	20時間超～50時間以下	50時間超	
全体	341	0.6	29.9	24.6	37.5	7.3	
R2. 開設主体	国・公的	214	0.5	18.2	28.0	43.0	10.3
	国・公的以外	127	0.8	49.6	18.9	28.3	2.4
RQ3. 許可病床数	20-99床	49	-	49.0	32.7	18.4	-
	100-199床	76	2.6	42.1	17.1	34.2	3.9
	200-399床	105	-	30.5	24.8	37.1	7.6
	400床以上	111	-	12.6	26.1	48.6	12.6
RQ3.1. 最も多い病床	一般病床	294	-	24.1	26.9	40.8	8.2
	精神病床	14	-	50.0	28.6	14.3	7.1
	療養病床	28	3.6	75.0	3.6	17.9	-
Q3.3. 最も多い病床を有する医療機能	高度急性期	42	-	9.5	33.3	52.4	4.8
	急性期	222	-	21.6	25.7	42.8	9.9
	回復期	22	4.5	68.2	22.7	4.5	-
	慢性期	37	2.7	67.6	10.8	18.9	-

	調査数	0時間超～5時間以下	5時間超～10時間以下	10時間超～20時間以下	20時間超	
全体	444	44.4	34.2	18.9	2.5	
R2. 開設主体	国・公的	232	33.2	41.8	22.8	2.2
	国・公的以外	212	56.6	25.9	14.6	2.8
RQ3. 許可病床数	20-99床	82	59.8	26.8	11.0	2.4
	100-199床	113	47.8	34.5	12.4	5.3
	200-399床	123	51.2	30.9	16.3	1.6
	400床以上	126	24.6	42.1	32.5	0.8
RQ3.1. 最も多い病床	一般病床	344	34.6	40.7	22.7	2.0
	精神病床	31	83.9	9.7	3.2	3.2
	療養病床	58	75.9	12.1	6.9	5.2
Q3.3. 最も多い病床を有する医療機能	高度急性期	47	12.8	38.3	46.8	2.1
	急性期	252	33.3	44.8	20.2	1.6
	回復期	30	70.0	20.0	6.7	3.3
	慢性期	76	75.0	13.2	9.2	2.6

時間外労働時間に対する時間外労働手当の支払い

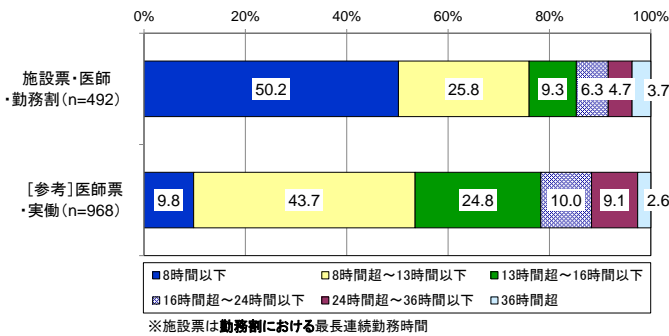


③最長連続勤務時間と勤務終了から勤務開始までが最も短い時間

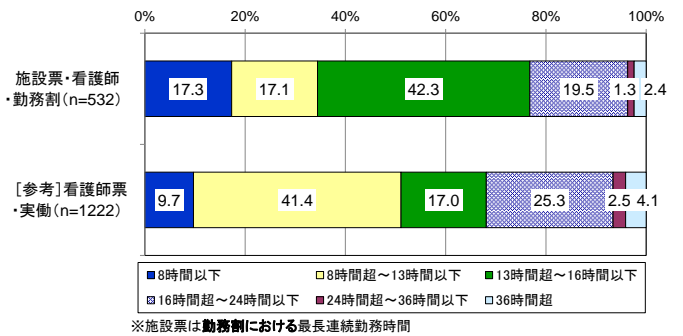
フルタイム勤務の正規職員の医師の平成 27 年 6 月の勤務割における最長連続勤務時間は「8 時間以下」の比率が高く 5 割を占め、勤務終了から勤務開始までが最も短い勤務割は「11 時間超～16 時間以下」が 7 割を占める。

フルタイム勤務の正規職員の看護師の平成 27 年 6 月の勤務割における最長連続勤務時間は「13 時間超～16 時間以下」の比率が高く 4 割を占め、勤務終了から勤務開始までが最も短い勤務割は「11 時間超～16 時間以下」が 5 割を占める。

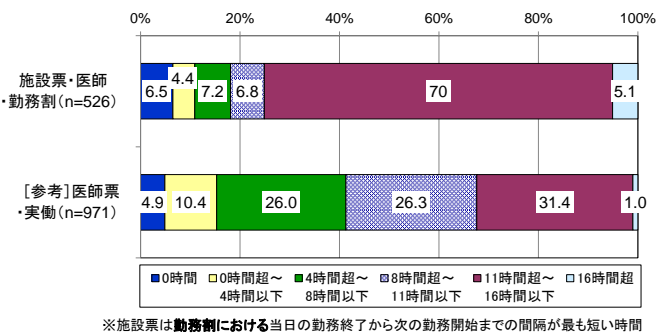
最長連続勤務時間【医師】



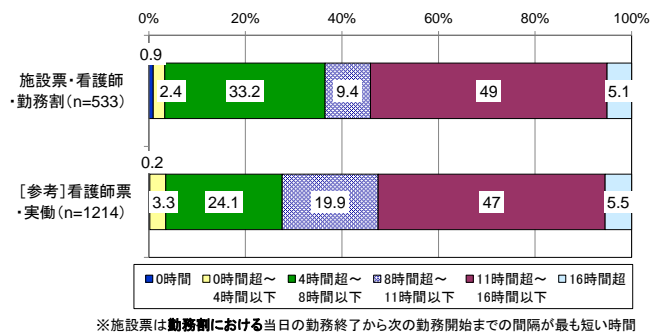
最長連続勤務時間【看護師】



当日の勤務の終了から次の勤務開始までの間隔が最も短い時間【医師】



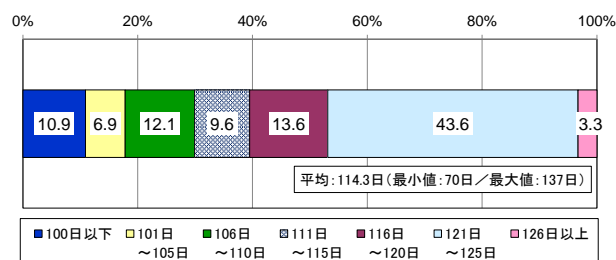
当日の勤務の終了から次の勤務開始までの間隔が最も短い時間【看護師】



(2) 休日・年次有給休暇

平成26年度の年間所定休日日数を尋ねたところ、平均114.3日で、「121～125日」の比率が4割強と高い。開設主体が「国・公的」病院や大規模病院の年間所定休日日数が多い。医師票の6月の休日日数と比較すると、規模の大きな病院に勤務する医師ほど、年間所定休日日数は多くなっているものの、実際の休日日数は少ない状況にある。

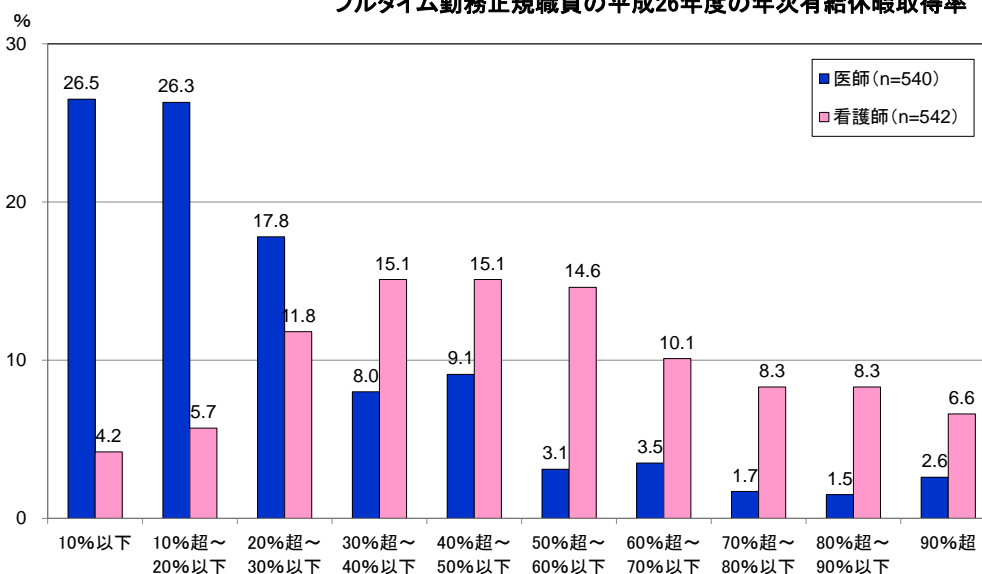
平成26年度の年間所定休日日数 [n=521]



		調査数	100日以下	101日～105日	106日～110日	111日～115日	116日～120日	121日～125日	126日以上	平均
全体		521	10.9	6.9	12.1	9.6	13.6	43.6	3.3	114.3
R2. 開設主体	国・公的	233	3.9	0.9	2.6	1.3	13.3	75.1	3.0	119.6
	国・公的以外	288	16.7	11.8	19.8	16.3	13.9	18.1	3.5	110.0
RQ3. 許可病床数	20～99床	112	18.8	6.3	17.0	10.7	11.6	29.5	6.3	111.1
	100～199床	156	13.5	10.3	18.6	10.9	16.7	26.9	3.2	112.1
	200～399床	132	5.3	7.6	6.8	12.9	13.6	51.5	2.3	116.5
	400床以上	121	6.6	2.5	5.0	3.3	11.6	69.4	1.7	117.8
RQ3.1. 最も多い病床	一般病床	366	8.5	5.7	9.8	7.1	13.7	51.9	3.3	116.0
	精神病床	50	16.0	10.0	12.0	12.0	10.0	34.0	6.0	111.9
	療養病床	94	18.1	10.6	19.1	19.1	12.8	18.1	2.1	109.1
	高度急性期	45	4.4	2.2	4.4	4.4	6.7	77.8	-	118.3
Q3.3. 最も多い病床の医療機能	急性期	269	10.0	6.3	9.7	7.1	15.6	47.6	3.7	115.5
	回復期	34	11.8	5.9	17.6	14.7	8.8	32.4	8.8	113.6
	慢性期	114	14.0	8.8	18.4	15.8	14.0	28.1	0.9	111.1

年次有給休暇の取得率を見ると、フルタイム勤務の正規職員の医師では「10%以下」「10%超～20%以下」の比率が高く、30%以下までで全体の7割を占め、医師は年次有給休暇の取得率が少ない。一方、フルタイム勤務の正規職員の看護師では「30%超～40%以下」「40%超～50%以下」「50%超～60%以下」をピークに幅広く分布しており、また、病院によって取得率に差がみられる。

フルタイム勤務正規職員の平成26年度の年次有給休暇取得率



		調査数	10%以下	10%超～ 20%以下	20%超～ 30%以下	30%超～ 40%以下	40%超～ 50%以下	50%超～ 60%以下	60%超～ 70%以下	70%超～ 80%以下	80%超～ 90%以下	90%超	平均
全体		540	26.5	26.3	17.8	8.0	9.1	3.1	3.5	1.7	1.5	2.6	25.5
R2. 開設主体	国・公的	250	19.6	39.6	22.8	7.2	4.4	3.6	0.8	0.4	0.8	0.8	21.0
	国・公的以外	290	32.4	14.8	13.4	8.6	13.1	2.8	5.9	2.8	2.1	4.1	29.3
RQ3. 許可病床数	20～99床	117	41.0	17.9	12.8	6.8	9.4	0.9	0.9	1.7	2.6	6.0	24.2
	100～199床	160	29.4	20.0	14.4	8.8	10.0	4.4	5.0	3.1	1.9	3.1	28.3
	200～399床	139	21.6	21.6	20.9	11.5	10.8	5.0	6.5	-	0.7	1.4	27.7
	400床以上	124	14.5	47.6	23.4	4.0	5.6	1.6	0.8	1.6	0.8	-	20.5
RQ3.1. 最も多い病床	一般病床	383	21.1	33.4	21.4	8.9	8.1	2.1	1.8	1.0	0.8	1.3	23.0
	精神病床	49	26.5	8.2	18.4	8.2	12.2	6.1	12.2	4.1	4.1	-	33.1
	療養病床	96	45.8	10.4	4.2	4.2	10.4	4.2	5.2	3.1	3.1	9.4	30.8
Q3.3. 最も多い病床の 医療機能	高度急性期	45	15.6	55.6	22.2	2.2	4.4	-	-	-	-	-	17.0
	急性期	286	23.1	32.5	22.4	8.7	7.0	1.4	1.7	1.0	0.7	1.4	22.4
	回復期	34	32.4	14.7	5.9	8.8	14.7	11.8	2.9	2.9	2.9	2.9	30.4
	慢性期	118	36.4	12.7	6.8	8.5	12.7	5.1	5.9	1.7	2.5	7.6	31.3

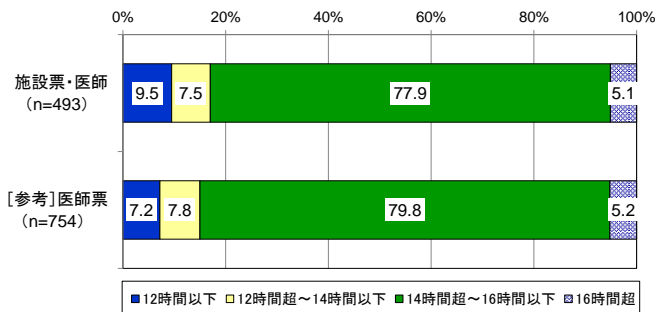
		調査数	10%以下	10%超～ 20%以下	20%超～ 30%以下	30%超～ 40%以下	40%超～ 50%以下	50%超～ 60%以下	60%超～ 70%以下	70%超～ 80%以下	80%超～ 90%以下	90%超	平均
全体		542	4.2	5.7	11.8	15.1	15.1	14.6	10.1	8.3	8.3	6.6	50.6
R2. 開設主体	国・公的	250	6.0	7.6	16.8	22.0	17.6	16.0	6.8	4.4	2.4	0.4	40.1
	国・公的以外	292	2.7	4.1	7.5	9.2	13.0	13.4	13.0	11.6	13.4	12.0	59.7
RQ3. 許可病床数	20～99床	117	7.7	6.8	9.4	9.4	11.1	16.2	9.4	6.8	9.4	13.7	53.7
	100～199床	160	3.8	4.4	10.6	12.5	16.3	10.0	10.0	13.1	11.3	8.1	54.9
	200～399床	139	2.9	7.9	8.6	16.5	15.1	16.5	12.2	6.5	10.1	3.6	50.1
	400床以上	126	3.2	4.0	19.0	22.2	17.5	16.7	8.7	5.6	1.6	1.6	43.1
RQ3.1. 最も多い病床	一般病床	385	3.6	6.0	13.2	17.4	17.9	15.3	9.4	6.5	6.2	4.4	47.6
	精神病床	49	2.0	2.0	10.2	6.1	12.2	16.3	12.2	12.2	12.2	14.3	62.1
	療養病床	96	6.3	6.3	8.3	10.4	7.3	11.5	12.5	13.5	12.5	11.5	56.5
Q3.3. 最も多い病床の 医療機能	高度急性期	47	2.1	2.1	25.5	25.5	19.1	10.6	8.5	2.1	2.1	2.1	41.0
	急性期	286	4.2	7.3	12.2	17.5	16.8	15.0	9.8	7.3	5.9	3.8	47.1
	回復期	34	-	8.8	2.9	8.8	17.6	14.7	14.7	11.8	11.8	8.8	57.5
	慢性期	118	6.8	4.2	9.3	8.5	10.2	14.4	10.2	11.0	13.6	11.9	56.8

3. 宿日直・夜勤

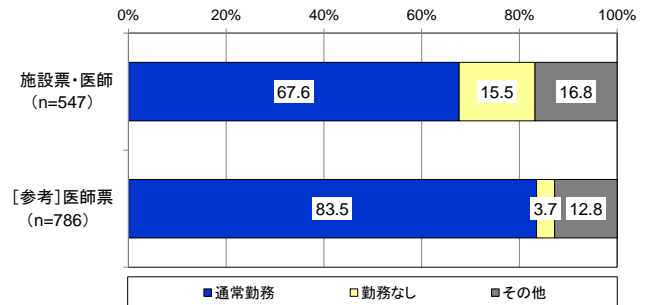
(1) 医師の宿日直・夜勤

フルタイム勤務の正規職員の医師の宿直拘束時間は「14 時間超～16 時間以下」が 8 割を占め、宿直明けは 7 割の病院で「通常勤務」となっている。日直拘束時間は、「8 時間超～10 時間以下」が 2/3 を占めている。夜勤拘束時間は、「14 時間超～16 時間以下」が 5 割を占め、「16 時間超」も 2 割弱見られる。夜勤中の休憩・仮眠時間についての規程は、「ある」と回答した病院が半数弱であり、規程がある場合の休憩・仮眠時間は、「1 時間超～2 時間以下」が 5 割、次いで「1 時間以下」が 3 割となっている。

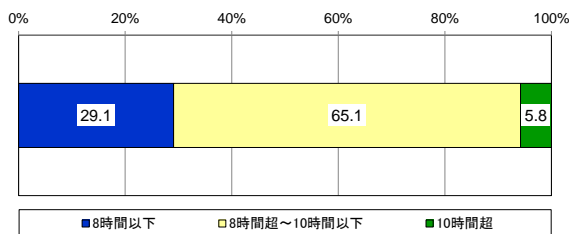
平成27年6月時点の医師の宿直拘束時間



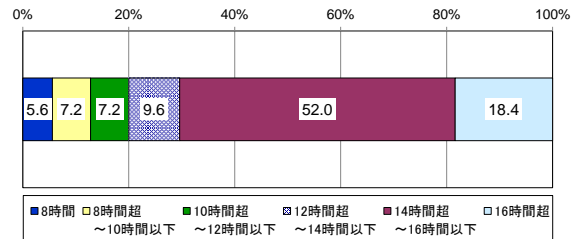
医師の宿直明けの勤務割



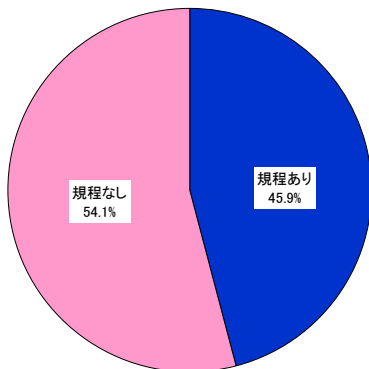
平成27年6月時点の医師の日直拘束時間 [n=416]



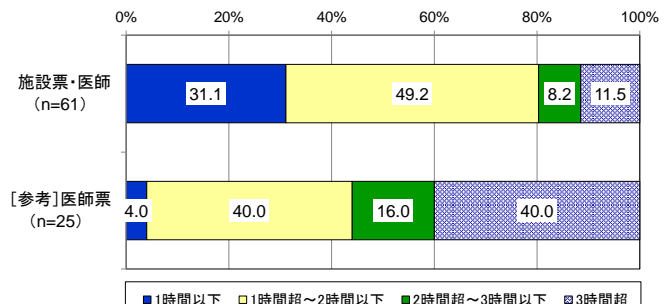
平成27年6月時点の医師の夜勤拘束時間 [n=125]



医師の夜勤のうち休憩・仮眠時間の規程 [n=133]



医師の夜勤のうち休憩・仮眠時間の規程上の合計時間

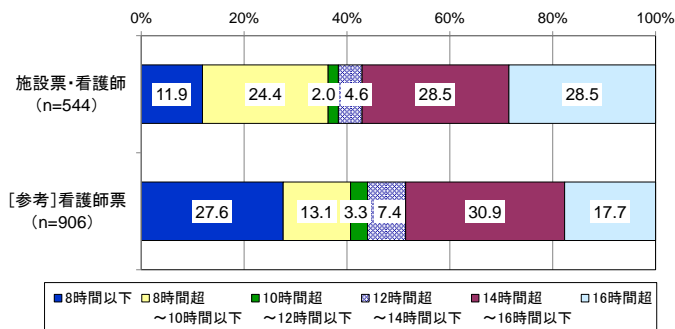


※医師票は平成27年6月の夜勤1回あたりの実際の休憩・仮眠時間数

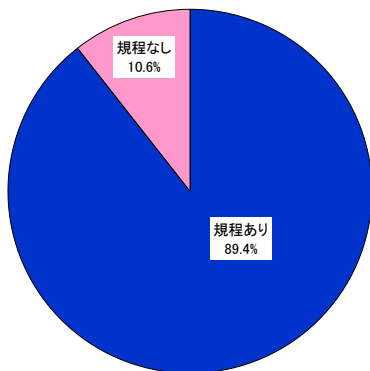
(2) 看護師の夜勤

フルタイム勤務の正規職員の看護師の夜勤拘束時間は、2交代制と3交代制をあわせて、「14時間超～16時間以下」「16時間超」で6割、「8時間超～10時間以下」「8時間以下」で4割弱を占める。
夜勤中の休憩・仮眠時間についての規程は、「ある」と回答した病院が9割を占めており、規程がある場合の休憩・仮眠時間は、「1時間超～2時間以下」が5割、次いで「1時間以下」が4割を占める。

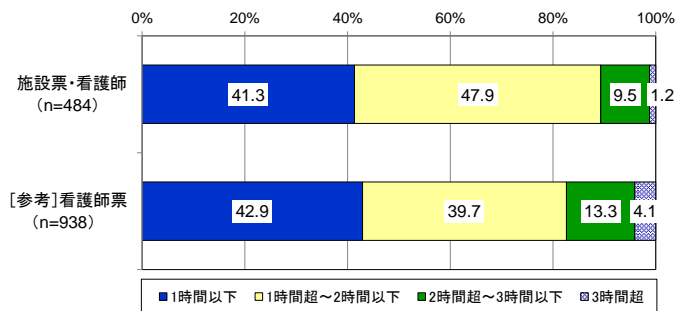
平成27年6月時点の看護師の夜勤拘束時間



看護師の夜勤のうち休憩・仮眠時間の規程 [n=545]



看護師の夜勤のうち休憩・仮眠時間の規程上の合計時間



※看護師票は平成27年6月の夜勤1回あたりの実際の休憩・仮眠時間数

(3) 宿直・夜勤回数

フルタイム勤務の正規職員で、平成27年6月に宿直・夜勤を行った一人当たりの回数を尋ねたところ、医師については、宿直は3.6回、夜勤は4.0回であり、看護師については、夜勤（夜勤専従者を除く。）は5.5回、夜勤（夜勤専従者）は10.0回となっている。

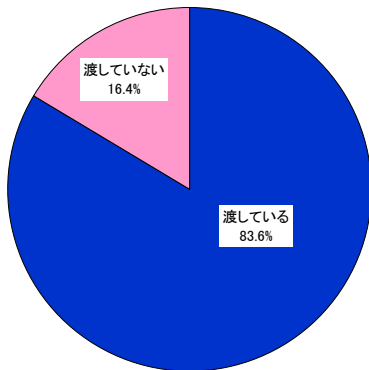
宿直夜勤を行ったフルタイム勤務正規職員

	医師		看護師	
	宿直 1人当り 回数	夜勤 1人当り 回数	夜勤(夜勤専 従者を除く) 1人当り 回数	夜勤専従 1人当り 回数
全体	3.6	4.0	5.5	10.0
R2. 開設主体				
国・公的	2.7	3.3	6.0	11.4
国・公的以外	4.6	4.8	5.0	9.2
RQ3. 許可病床数				
20～99床	5.8	6.3	4.9	8.1
100～199床	4.1	4.5	5.4	9.7
200～399床	2.5	2.7	5.6	9.9
400床以上	2.4	3.3	6.0	11.7
RQ3.1. 最も多い 病床				
一般病床	3.2	3.5	5.8	10.7
精神病床	4.2	5.0	5.1	8.4
療養病床	4.8	6.1	4.6	7.7
Q3.3. 最も多い病 床の医療機能				
高度急性期	2.5	3.2	6.0	12.8
急性期	3.0	3.5	5.8	10.6
回復期	4.8	2.6	5.0	9.9
慢性期	5.0	6.2	4.9	7.9

4. 労働条件の明示等

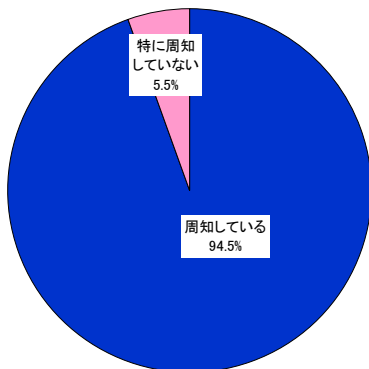
雇用契約書又は労働条件通知書を職員に「渡している」との回答が83.6%であった
 就業規則の周知については、「周知している」との回答が94.5%であった。
 労使協定については、64.6%が「特別条項を定めた36協定を届け出ている」と回答し、29.7%が「特別条項なしの36協定を届け出ている」と回答した。なお、病院の5.6%が「36協定を締結していない」と回答した。規模の大きな病院ほど「特別条項を定めた36協定を届け出ている」の比率が高く、規模の小さな病院ほど「特別条項なしの36協定を届け出ている」の比率が高い。

雇用契約書・労働条件通知書について [n=548]



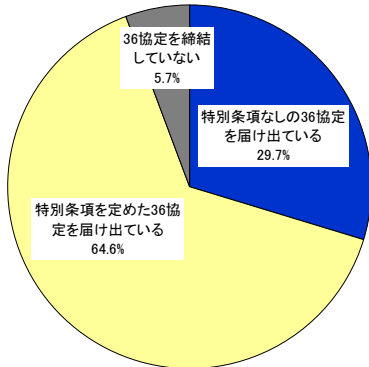
	調査数	渡している	渡していない	
全体	548	83.6	16.4	
R2. 開設主体	国・公的	252	75.4	24.6
	国・公的以外	296	90.5	9.5
RQ3. 許可病床数	20-99床	119	84.0	16.0
	100-199床	160	85.6	14.4
	200-399床	139	82.7	17.3
	400床以上	130	81.5	18.5
RQ3.1. 最も多い病床	一般病床	390	81.0	19.0
	精神病床	50	88.0	12.0
	療養病床	96	91.7	8.3
RQ3.3. 最も多い病床の医療機能	高度急性期	48	83.3	16.7
	急性期	288	79.9	20.1
	回復期	35	94.3	5.7
	慢性期	118	87.3	12.7

就業規則の周知について [n=548]



	調査数	周知している	特に周知していない	
全体	548	94.5	5.5	
R2. 開設主体	国・公的	252	92.1	7.9
	国・公的以外	296	96.6	3.4
RQ3. 許可病床数	20-99床	119	90.8	9.2
	100-199床	160	95.6	4.4
	200-399床	139	95.7	4.3
	400床以上	130	95.4	4.6
RQ3.1. 最も多い病床	一般病床	390	93.8	6.2
	精神病床	50	94.0	6.0
	療養病床	96	96.9	3.1
RQ3.3. 最も多い病床の医療機能	高度急性期	48	95.8	4.2
	急性期	288	93.1	6.9
	回復期	35	97.1	2.9
	慢性期	118	97.5	2.5

労使協定(36協定)の労働基準監督署への届出 [n=548]



	調査数	特別条項を定めた36協定を届け出ている	特別条項なしの36協定を届け出ている	36協定を締結していない	
全体	548	64.6	29.7	5.7	
R2. 開設主体	国・公的	252	76.6	18.3	5.2
	国・公的以外	296	54.4	39.5	6.1
RQ3. 許可病床数	20-99床	119	50.4	40.3	9.2
	100-199床	160	58.8	36.9	4.4
	200-399床	139	66.2	27.3	6.5
	400床以上	130	83.1	13.8	3.1
RQ3.1. 最も多い病床	一般病床	390	69.7	25.1	5.1
	精神病床	50	44.0	44.0	12.0
	療養病床	96	55.2	39.6	5.2
RQ3.3. 最も多い病床の医療機能	高度急性期	48	91.7	6.3	2.1
	急性期	288	68.1	26.4	5.6
	回復期	35	62.9	28.6	8.6
	慢性期	118	54.2	41.5	4.2

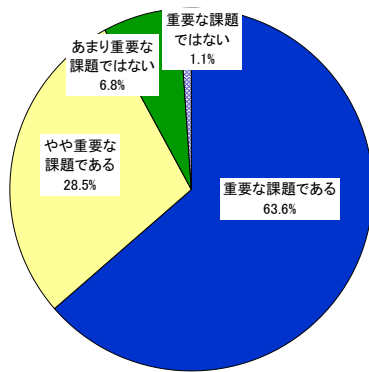
5. 勤務環境改善の取組

勤務環境改改善に対する課題認識を尋ねたところ、63.6%が「重要な課題」としており、「やや重要な課題」と合わせると、9割の医療機関が課題と認識している。

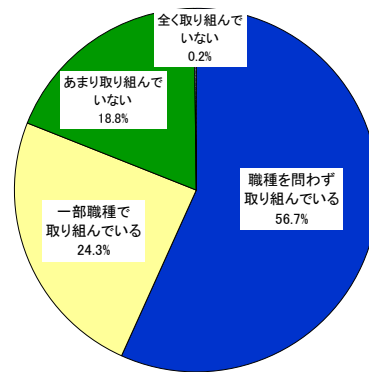
勤務環境改善の取組状況については、「全く取り組んでいない」は0.2%で、ほとんどの病院が何らかの取組を行っている。積極的に取り組んでいる病院が多い中で、「あまり取り組んでいない」病院は、「20-99床」の小規模病院や、一般病床以外の「精神病床」や「療養病床」で多くなっている。

勤務環境改善に取り組んでいる病院の半数が、「プロジェクトチーム・委員会」を設けて取り組んでいるが、「経営トップの主体的な関与」「明文化しての周知」「具体的な指標を設定」して取り組んでいる病院は3割前後となっている。

医療従事者の勤務環境改善に関する現状認識 [n=547]



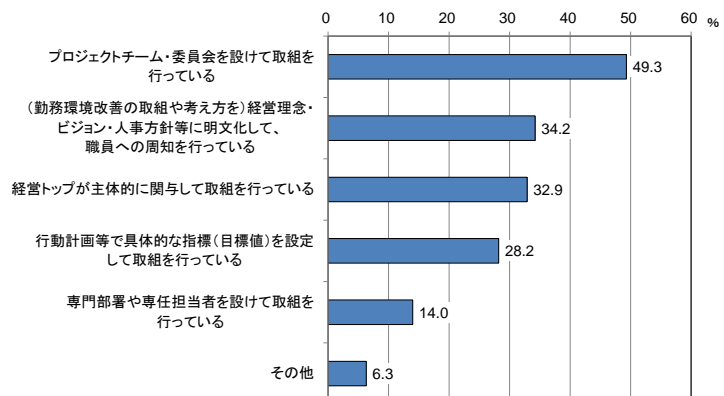
医療従事者の勤務環境改善に関する取組状況 [n=548]



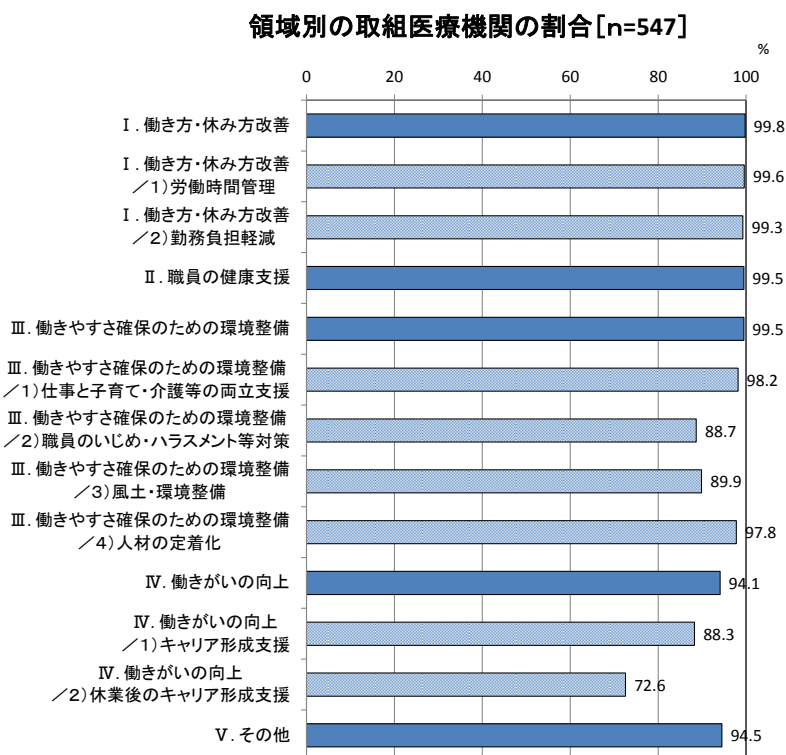
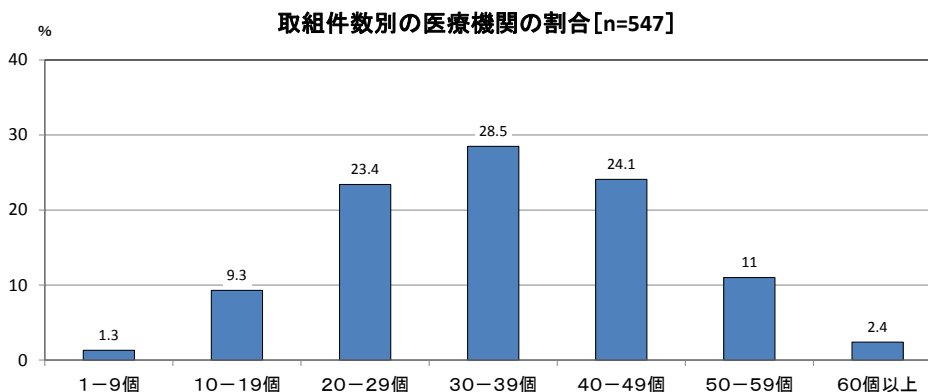
		調査数	重要な課題である	重要な課題ではない
全体		547	92.1	7.9
R2. 開設主体	国・公的	251	95.6	4.4
	国・公的以外	296	89.2	10.8
RQ3.許可病床数	20-99床	119	82.4	17.6
	100-199床	160	93.8	6.3
	200-399床	138	92.8	7.2
	400床以上	130	98.5	1.5
RQ3.1.最も多い病床	一般病床	389	92.8	7.2
	精神病床	50	92.0	8.0
	療養病床	96	88.5	11.5
Q3.3.最も多い病床の医療機能	高度急性期	48	100.0	-
	急性期	287	92.3	7.7
	回復期	35	91.4	8.6
	慢性期	118	88.1	11.9

		調査数	職種を問わず取り組んでいる	一部職種で取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない
全体		548	56.8	24.3	18.8	0.2
R2. 開設主体	国・公的	252	59.5	22.2	18.3	-
	国・公的以外	296	54.4	26.0	19.3	0.3
RQ3.許可病床数	20-99床	119	45.4	21.8	32.8	-
	100-199床	160	52.5	28.8	18.1	0.6
	200-399床	139	59.7	20.9	19.4	-
	400床以上	130	69.2	24.6	6.2	-
RQ3.1.最も多い病床	一般病床	390	60.3	24.4	15.4	-
	精神病床	50	50.0	24.0	26.0	-
	療養病床	96	45.8	24.0	29.2	1.0
Q3.3.最も多い病床の医療機能	高度急性期	48	66.7	31.3	2.1	-
	急性期	288	58.7	24.7	16.7	-
	回復期	35	48.6	22.9	28.6	-
	慢性期	118	51.7	22.9	24.6	0.8
R22.勤務環境改善現状認識	重要な課題である	504	59.1	24.4	16.5	-
	重要な課題ではない	43	30.2	20.9	46.5	2.3

医療従事者の勤務環境改善に関する病院内の取組体制 [n=444]



68 の取組項目を具体的に挙げて取組の有無を尋ねたところ、1 つも取り組んでいない医療機関は 548 医療機関中 1 件のみで、ほぼすべての病院が何らかの項目に取り組んでいる。取り組んでいる医療機関 (n=547) の取組個数を見ると、少なくとも 4 項目以上取り組んでおり、平均 35 項目と多くの項目に取り組んでいた。領域別に取り組の有無を見ると、いずれの領域においても高い取組比率を示しているが、「IV. 働きがいの向上」の「2) 休業後のキャリア形成支援」の取組比率が相対的に低くなっている。

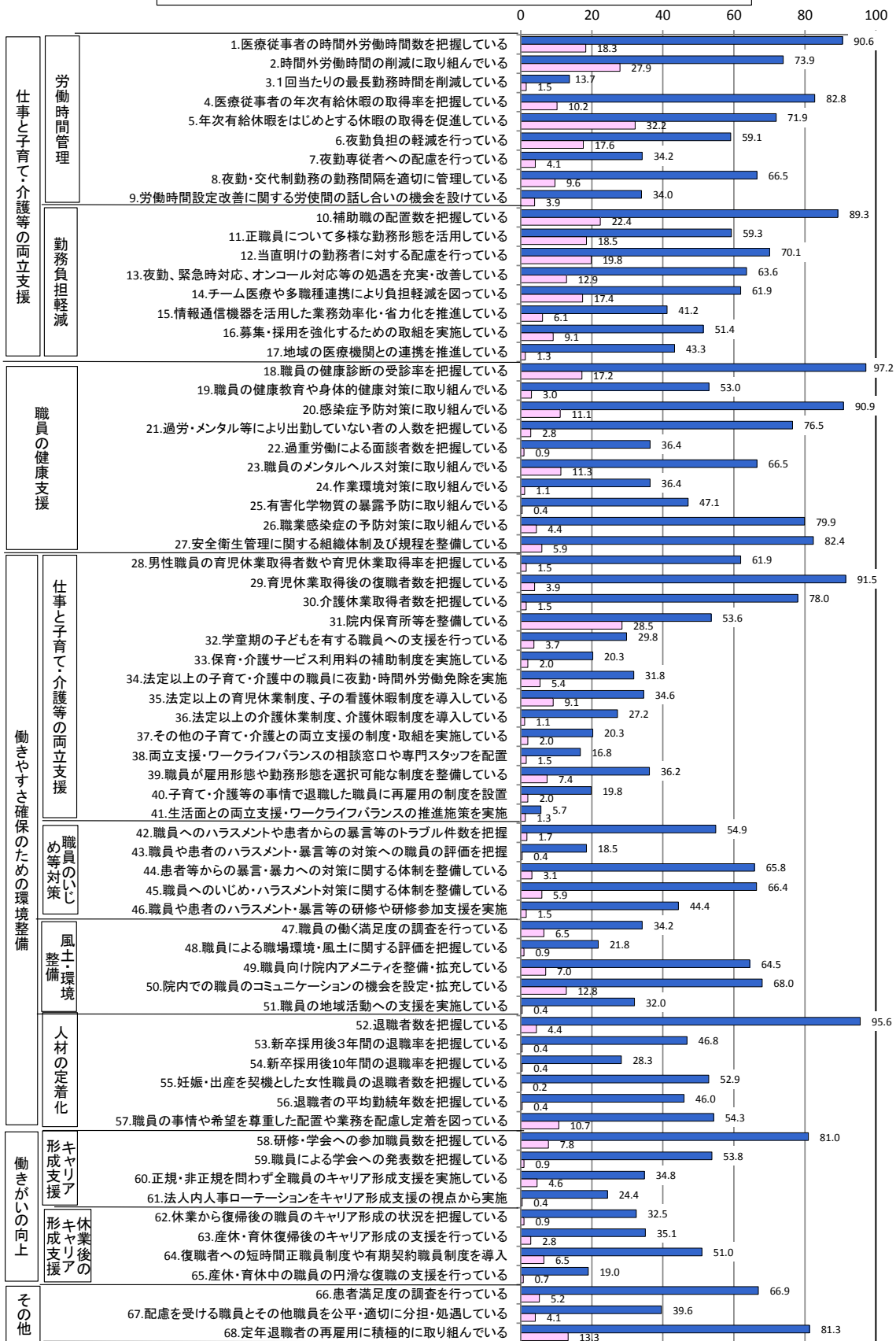


医療従事者の勤務環境改善に関する取組

■ 現在取り組んでいるもの (n=541)

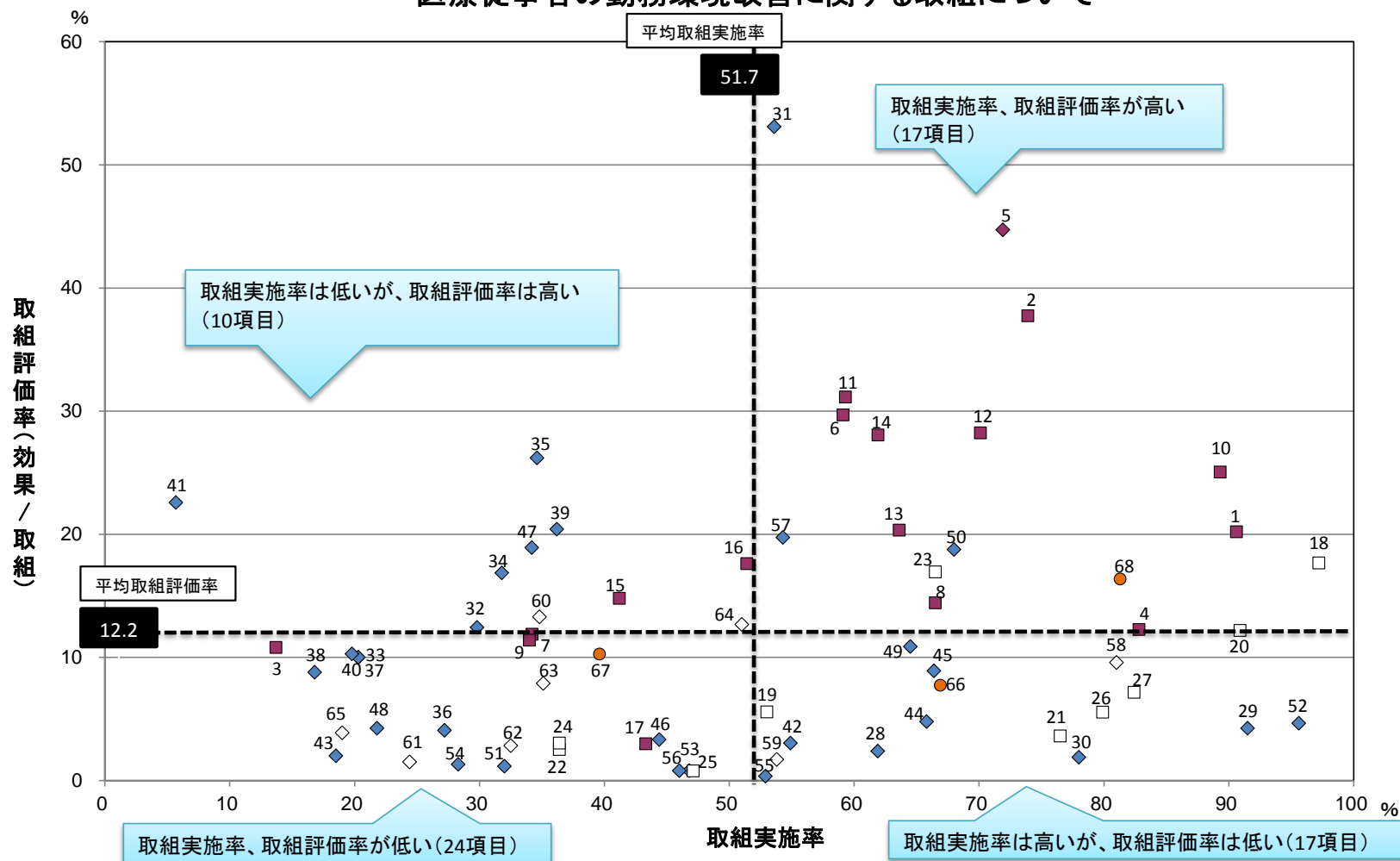
□ 効果が高いと評価できる取組 (n=541)

%



勤務環境改善項目別の取組実施率と取組評価率（効果が高いと評価した医療機関数/取組医療機関数）から、「取組実施率、取組評価率が高い項目」「取組実施率は低いが、取組評価率が高い項目」「取組実施率が高いが、取組評価率は低い項目」「取組実施率、取組評価率が低い項目」の4つに分類したところ、「取組実施率、取組評価率が高い項目」は17項目、「取組実施率は低いが、取組評価率が高い項目」は10項目、「取組実施率が高いが、取組評価率は低い項目」は17項目、「取組実施率、取組評価率が低い項目」24項目となった。

医療従事者の勤務環境改善に関する取組について



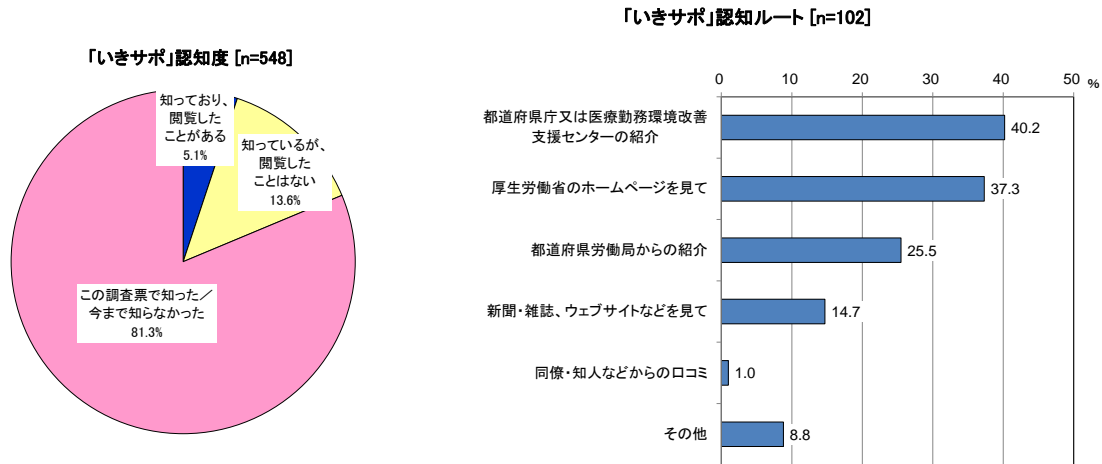
勤務環境改善項目別の取組実施率と取組評価率

(n=541)

分類	領域	マーク	番号	取組み内容	横軸： 取組実施率	縦軸： 取組評価率 (効果/実施)
取組実施率、 取組評価率が高い	I	■	1	医療従事者の時間外労働時間数を把握している	90.6	20.2
	I	■	2	時間外労働時間の削減に取り組んでいる	73.9	37.8
	I	■	4	医療従事者の年次有給休暇の取得率を把握している	82.8	12.3
	I	■	5	年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している	71.9	44.7
	I	■	6	夜勤負担の軽減を行っている	59.1	29.7
	I	■	8	夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している	66.5	14.4
	I	■	10	補助職の配置数を把握している	89.3	25.1
	I	■	11	正職員について多様な勤務形態を活用している	59.3	31.2
	I	■	12	当直明けの勤務者に対する配慮を行っている	70.1	28.2
	I	■	13	夜勤、緊急時対応、オンコール対応等の処遇を充実・改善している	63.6	20.3
	I	■	14	チーム医療や多職種連携により負担軽減を図っている	61.9	28.1
	II	□	18	職員の健康診断の受診率を把握している	97.2	17.7
	II	□	23	職員のメンタルヘルス対策に取り組んでいる	66.5	16.9
	III	◆	31	院内保育所等を整備している	53.6	53.1
III	◆	50	院内での職員のコミュニケーションの機会を設定・拡充している	68.0	18.8	
III	◆	57	職員の事情や希望を尊重した配置や業務を配慮し定着を図っている	54.3	19.7	
V	●	68	定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる	81.3	16.4	
取組実施率は低い が 取組評価率は高い	I	■	15	情報通信機器を活用した業務効率化・省力化を推進している	41.2	14.8
	I	■	16	募集・採用を強化するための取組を実施している	51.4	17.6
	III	◆	32	学童期の子どもを有する職員への支援を行っている	29.8	12.4
	III	◆	34	法定以上の子育て・介護中の職員に夜勤・時間外労働免除を実施	31.8	16.9
	III	◆	35	法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度を導入している	34.6	26.2
	III	◆	39	職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度を整備している	36.2	20.4
	III	◆	41	生活面との両立支援・ワークライフバランスの推進施策を実施	5.7	22.6
	III	◆	47	職員の働く満足度の調査を行っている	34.2	18.9
	IV	◇	60	正規・非正規を問わず全職員のキャリア形成支援を実施している	34.8	13.3
	IV	◇	64	復職者への短時間正職員制度や有期契約職員制度を導入	51.0	12.7
取組実施率は低い が 取組評価率は高い	II	□	19	職員の健康教育や身体的健康対策に取り組んでいる	53.0	5.6
	II	□	20	感染症予防対策に取り組んでいる	90.9	12.2
	II	□	21	過労・メンタル等により出勤していない者の人数を把握している	76.5	3.6
	II	□	26	職業感染症の予防対策に取り組んでいる	79.9	5.6
	II	□	27	安全衛生管理に関する組織体制及び規程を整備している	82.4	7.2
	III	◆	28	男性職員の育児休業取得者数や育児休業取得率を把握している	61.9	2.4
	III	◆	29	育児休業取得後の復職者数を把握している	91.5	4.2
	III	◆	30	介護休業取得者数を把握している	78.0	1.9
	III	◆	42	職員へのハラスメントや患者からの暴言等のトラブル件数を把握	54.9	3.0
	III	◆	44	患者等からの暴言・暴力への対策に関する体制を整備している	65.8	4.8
	III	◆	45	職員へのいじめ・ハラスメント対策に関する体制を整備している	66.4	8.9
	III	◆	49	職員向け院内アメニティを整備・拡充している	64.5	10.9
	III	◆	52	退職者数を把握している	95.6	4.6
	III	◆	55	妊娠・出産を契機とした女性職員の退職者数を把握している	52.9	0.3
IV	◇	58	研修・学会への参加職員数を把握している	81.0	9.6	
IV	◇	59	職員による学会への発表数を把握している	53.8	1.7	
V	●	66	患者満足度の調査を行っている	66.9	7.7	
取組実施率、 取組評価率が低い	I	■	3	1回当たりの最長勤務時間を削減している	13.7	10.8
	I	■	7	夜勤専従者への配慮を行っている	34.2	11.9
	I	■	9	労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている	34.0	11.4
	I	■	17	地域の医療機関との連携を推進している	43.3	3.0
	II	□	22	過重労働による面談者数を把握している	36.4	2.5
	II	□	24	作業環境対策に取り組んでいる	36.4	3.0
	II	□	25	有害化学物質の暴露予防に取り組んでいる	47.1	0.8
	III	◆	33	保育・介護サービス利用料の補助制度を実施している	20.3	10.0
	III	◆	36	法定以上の介護休業制度、介護休暇制度を導入している	27.2	4.1
	III	◆	37	その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組を実施している	20.3	10.0
	III	◆	38	両立支援・ワークライフバランスの相談窓口や専門スタッフを配置	16.8	8.8
	III	◆	40	子育て・介護等の事情で退職した職員に再雇用の制度を設置	19.8	10.3
	III	◆	43	職員や患者のハラスメント・暴言等の対策への職員の評価を把握	18.5	2.0
	III	◆	46	職員や患者のハラスメント・暴言等の研修や研修参加支援を実施	44.4	3.3
	III	◆	48	職員による職場環境・風土に関する評価を把握している	21.8	4.2
	III	◆	51	職員の地域活動への支援を実施している	32.0	1.2
	III	◆	53	新卒採用後3年間の退職率を把握している	46.8	0.8
	III	◆	54	新卒採用後10年間の退職率を把握している	28.3	1.3
	III	◆	56	退職者の平均勤続年数を把握している	46.0	0.8
	IV	◇	61	法人内人事ローテーションをキャリア形成支援の視点から実施	24.4	1.5
IV	◇	62	休業から復帰後の職員のキャリア形成の状況を把握している	32.5	2.8	
IV	◇	63	産休・育休復帰後のキャリア形成の支援を行っている	35.1	7.9	
IV	◇	65	産休・育休中の職員の円滑な復職の支援を行っている	19.0	3.9	
V	●	67	配慮を受ける職員とその他職員を公平・適切に分担・処遇している	39.6	10.3	
			平均	51.68	12.22	

6. 「いきいき働く医療機関サポート Web」

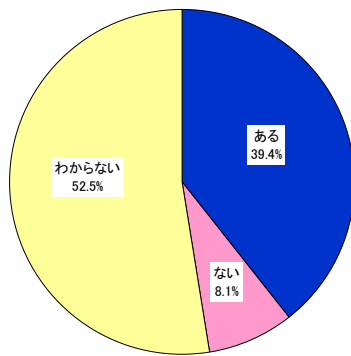
「いきいき働く医療機関サポート Web」(いきサポ) の認知度を尋ねたところ、「知っている」は2割で、認知度はまだ低い。「いきサポ」の認知者に認知ルートを尋ねたところ、「支援センターの紹介」や「厚生労働省のホームページ」の比率が高かった。



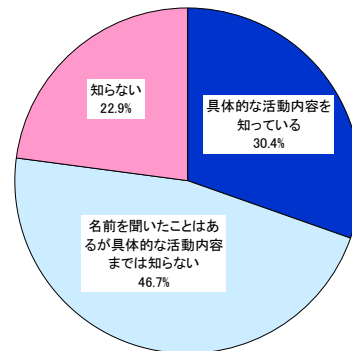
7. 「医療勤務環境改善支援センター」

支援センターの有無については、「わからない」という回答が最も多く半数を占めている。支援センターの存在を知っている人のうち、具体的な活動まで理解している人は3割であった。支援センターの利用意向については、「ぜひ利用したい」「どちらかというと利用したい」を合わせると半数が利用したいと回答しており、支援センターへのニーズは高い。

「医療勤務環境改善支援センター」の有無 [n=546]



「医療勤務環境改善支援センター」の活動の認知 [n=214]



「医療勤務環境改善支援センター」の利用意向 [n=213]

